大正九年十二月十四日第三種郵便物認可　昭和十三年三月二十七日　新京日日新聞　(日曜日)　第五千四百五十四號　(一)

新京日日新聞
夕刊　三月二十六日

地方行政の大刷新
中堅官吏大異動
四十餘名事務官、警正に昇任

滿洲國地方行政の擴充整備は治廢後における重要政策として滿洲國政府では愼重研究中であつたが、これが實施に當つて最も必要なる人的關係は街村制の確立と併行せず滿鐵、關東局よりの轉出者を中心とする官吏の交流入替が地方行政の根幹をなすものとして政府では廿六日左の如き地方中堅官吏の異動を發表した、委任官級より四十餘名の多數を事務官、警正に昇任せしめ警察官と副縣長との入替を含む二百餘名の異動は治廢後第一次異動として注意を惹くものがある

・富錦縣長
轉補奉天省土地科長　白　復
同通河縣長　閻　博
同富錦縣長
同三江省理事官　周　雲溪
同通河縣長
同三江省事務官　張　嘉賓
同三江省社會科長
同興安北省事務官　水上　健治
同興安北省總務科長
同通化省事務官　車　化善

同江縣副縣長　赤石　清三
同九臺縣副縣長
同永吉縣副縣長　安武　愼一
同通化省庶務科長
同龍江省理事官　鶴林　太郎
同吉林省管理科長
同龍江省事務官　西岡　定
同龍江省經理科長
同樺仁縣副縣長　三輪　健兒
同黑河省庶務科長
同前郭旗參事官

同興安北省理事官　田沼　龍男
同富裕縣副縣長　淺阪　正一
同哈爾濱市事務官　石垣　貞一
同樺仁縣副縣長　富永　謙雄
同柳河縣副縣長　神保　一夫
同盤化縣屬官　正田四三男
同興隆縣副縣長　三橋　勝彦
同復縣副縣長　河上　修
同錦州省屬官　宮島　榮豐
同吉林省屬官
同瀋陽縣庶務科長　影島　寛吉
同綏中縣庶務科長
內務局屬官　山地　秀夫
同復縣庶務科長
奉天省屬官　安藤　道夫
同長春縣庶務科長
肇東縣屬官　越部　毅
同双城縣庶務科長
同盖平縣庶務科長
奉天省屬官　上田　富夫
同濱江省事務官　大伴　二郎
同珠河縣副縣長
鳳城縣副縣長　宮澤　次郎
同海倫縣副縣長
鐵嶺縣副縣長　五十嵐利貞
同寧城縣副縣長
三江省事務官　濱尾　卓次
同饒河縣副縣長
樺川縣屬官　杉本　甲
同同江縣副縣長
熱河省理事官　奥田　貞夫
同鳳城縣副縣長
汪清縣警正　守田　義道
同安圖縣副縣長
治安部事務官　野間　忠藏
同懷德縣副縣長
治安部事務官　北原　正一
同復縣副縣長
治安部事務官　淺子　英
同本溪縣副縣長
龍江省理事官　梅原小次郎
同義縣副縣長　高井　虎雄
同虎林縣副縣長
開原縣警正　柴田　信次
同長嶺縣副縣長
青岡縣副縣長　齋藤　謙
同肇東縣副縣長
承德縣事務官　龜山　俊衛
同樺甸縣副縣長
榆樹縣副縣長　平岡　修治
同九臺縣副縣長　米光　作太
同榆樹縣副縣長

同科爾沁左翼前旗參事官
興安局屬官　齋藤　倫一
同巴林右翼旗參事官
海倫縣副縣長　松村　三次
同木蘭縣副縣長
協和會　本間　有三
同承德縣副縣長
延吉縣副縣長　森山　正
同大同學院教授
樺川縣副縣長
兼地籍整理局事務官　川瀨　石仙
兼官を解く
首都警察廳理事官　森田　貞男
轉補首都警察廳警務科長　三松　泰助
同吉林省警備科長
省理事官　肥後　正樹
同龍江省地方科長
省理事官　岩田　常雄

同熱河省警務科長
省理事官
同熱河省特務科長　藤井　喜作
省理事官　安武　愼一
同通化省庶務科長
通化省理事官　車　化善
補通化省社會科長
牡丹江省理事官　齋藤　重英
同牡丹江省警備科長
黑河省庶務科長　三輪　健兒

轉補同江縣警務科長
濱江省地方警察學校教官　飯塚　松吉
補警正(哈爾濱警察廳)
錦州地方警察學校教官　井室　行夫
轉補濱江省地方警察學校教官
(京都府警視)　森田　貞夫
任警正(首都警察廳警務科長)
齊々哈爾警察廳警務科長　三浦　秀吉
轉補琿春縣警務科長
延吉縣警正　猪原幸四郎
轉補齊々哈爾警察廳警務科長
敦化縣警正　淺見　太助
任警正(龍井警察署長)
吉林省事務官　小川　國廣
轉補鳳城縣警務科長
撫松縣副縣長　小松　仁平
轉補吉林省事務官
牡丹江省理事官　角　由吉
轉補牡丹江省督察官
哈爾濱警察廳警正　齋藤　重英
任牡丹江省理事官
(愛知縣警部)　永坂　孝一
任警正(哈爾濱警察廳)　林　靜
轉補興安北省警正
承德警察廳警正　築谷　章造
補虎林縣警正
安圖縣副縣長　平林　三治
轉補寧安縣警正
警正(承德警察廳)　押野　吉三
轉補永吉縣警正
內務局事務官　岩田　常雄
任熱河省理事官
撫順縣警正　田村　元

同錦州警察廳警務科長　山本　藤一
同遼陽警察廳警務科長　須藤　陽一
同營口警察廳特務科長
警察廳警正　永坂　孝一
同哈爾濱警察廳特務科長
治安部事務官　澤田　貞一
轉補永吉縣副縣長
通化省理事官　難波　星朗
任治安部事務官
吉林省事務官　安井　尋志
轉補治安部警務司
新京地方警察學校教官　宇野　晉治
補中央警察學校教授
首都警察廳警佐　則松　夢吉
同新京地方警察學校教官
中央警察學校教授　田邊　四郎

轉補樺川縣警正
營口警察廳警正　神戸　誠治
轉補通化縣警正
黑河省警正　須藤　陽一
轉補營口警察廳警正
首都警察廳警正　中間　陽吉
轉補通遼縣警正
虎林縣副縣長　溝部　孝
任警正(哈爾濱警察廳)
(長崎縣警視)　松島　友治
任警正(濱江省警務廳)
熱河省督察官　齋藤　光雄
任警正(洮安縣)
錦州警察廳警正

轉補撫順縣警正
(京都府警部)　石川　直次
任警正(奉天警察廳)
治安部屬官　市原　拾義
任警正(濱江省警務廳)
延吉縣警正　藤井吉次郎
轉補汪清縣警正
海上警察隊警正　矢加部宗太郎
同饒河縣警正
興安東省警正　近藤國次郎
同撫遠縣警正
興安東省理事官　高橋武之進
任警正(綏濱縣)
興安北省理事官　齋藤　直友
興安東省民生廳勤務を命ず
海拉爾警察廳長　安藤　貞夫
補興安北省理事官
吉林省督察官　福田　粂藏
轉補海拉爾警察廳長
吉林省理事官　藤本　愿
轉補吉林省督察官
本溪縣副縣長　三松　泰助
同吉林省理事官
興安西省警正　岩佐清太郎
同羅北縣警正
木蘭縣副縣長　小林　徹一
同佛山縣副縣長
濱江省事務官　小野　原
任警正(黑河省)
錦州省事務官　大塚　忠夫
轉補濱江省事務官
安東警察廳警正　秋田　春友
同鳥雲縣副縣長

兼黑河省警正
哈爾濱警察廳警正　賀來　一郎
轉補遜河縣副縣長　佐藤　敬治
同寬甸縣副縣長
富錦縣警正　岩崎　敏
同呼瑪縣副縣長
珠河縣副縣長　天野　光義
同鷗浦縣副縣長
樺川縣警正　鶴田　八郎
同開原縣警正
治安部屬官　依田　準
任警正(海龍縣)
興安南省科爾沁左翼前旗參事官　日和崎棟男
任興安南省事務官
興安西省阿魯科爾沁旗參事官　島村　三郎
轉補興安西省警務廳特務科長
興安北省科爾沁左翼中旗參事官　岩滿三七男
同興安北省警務廳特務科長
双城縣警正　藤井　喜作
同熱河省警務廳特務科長
哈爾濱警察廳警正　小池　房治
同齊々哈爾警察廳特務科長
(長崎縣警部)　大重　喜基
同龍江縣(警務股長)
奉天警察廳警正　隈部　續
依願免官
奉天警察廳警正　本郷　信雄
任警正
補奉天警察廳
遼陽警察廳警正警務科長　堀內　幸治
轉補奉天警察廳大和警察署長
海城縣警佐　山本　藤一
任警正(遼陽警察廳警務科長)
奉天警察廳警佐　渡邊　均
任警正(海城縣大石橋警察署長)

(警視廳警部)　横山平四郎
任警正(首都警察廳)
(長崎縣警部)　永田　力
任哈爾濱警察廳警正(阿城縣勤務)
(京都府警部)
任警正(双城縣)
(神奈川縣警部)　土永　丹治
任警正(龍鎭縣)
(警視廳警部)　鈴木　俊夫
任警正(洮南縣)　土井　太市
任警正(樺甸縣)
穎穆縣警佐　河村　慶八
任警正(敦化縣)
治安部屬官　永田　善男
任警正(富錦縣勤務)
治安部屬官　古谷　秀夫
任警正(綏化縣勤務)
雙陽縣警佐　杉本長三郎
任警正(海上警察隊勤務)
興安南省警佐　上野喜一郎
任事務官(警務司勤務)
治安部屬官　井上　末次
任事務官(警務司勤務)
錦州省警務廳屬官　多田　潔
齋藤　應藏
任警正(嫩江縣勤務)
林西縣警佐　東　千古
任警正
安東警察廳警佐　松田　鹿鳴
任警正(勃利縣勤務)
盤寧縣警佐　舟橋　任保
任警正(湯原縣勤務)
中央警察學校助教授　鳥越　龜一
任警正(布特哈旗勤務)
治安部屬官　鈴木　末男
任警正(克什克騰旗勤務)
臨江縣警佐　鹿毛　繁太

任警正
長春縣警佐　松野　繁藏
任警正(琿春縣勤務)
治安部屬官　藤原　粲一
任警正(琿春縣勤務)
和龍縣警佐　田部　興壯
任警正(琿春縣勤務)
磐石縣警佐　佐藤　長吾
任警正(琿春縣勤務)
牡丹江警察廳警佐　松下　健作
任警正(東寧縣勤務)
興安南省警佐　成瀨芳太郎
任警正(新密山縣勤務)
首都警察廳警佐　立花　虎雄
任警正(密山縣勤務)
牡丹江省警佐　佐藤登志竹
任警正(寧安縣勤務)
瀋陽縣警佐　永松　增朗
任警正(虎林縣勤務)
蘭西縣警佐　小峰　孫一
任警正(安樂鎭勤務)
奉天省警務廳屬官　篠崎　巖
任警正(穆稜縣勤務)
三江省警務廳屬官　武方寅之進
任警正(饒河縣勤務)
饒河縣警佐　粟田　利方
任警正(同江縣勤務)
通化省警佐　大山太十郎
任警正(綏濱縣勤務)
海上警察隊警佐　坂本　辰雄
任警正(蘿北縣勤務)
奉天省警佐　伊藤　次郎
任警正(呼瑪縣勤務)
黑河地方警察學校教官　平下喜代吉
任警正(金山鎭勤務)
興安西省警佐　小林　政平
任警正(佛山縣勤務)
黑河省警佐　藤藪　善造
任警正(漠河縣勤務)

黑河省屬官　大原　慧
任警正(遜河縣勤務)
齊々哈爾警察廳警佐　春山　直幸
任警正(新巴爾虎右翼旗勤務)
肇東縣警佐　佐藤　量
任警正(額爾克納右翼旗勤務)
興安北省警務廳警佐　安木美喜三
任警正(額爾克納左翼旗勤務)
治安部屬官　鈴木　勝壽
任警正(索倫旗勤務)
(神奈川縣警部)　佐藤　友三
任警正(黑河省勤務)
(警視廳警部)　佐々木藻之助
任警正(安東警察廳勤務)
(神奈川縣警部)　森永　傳
任警正(琿春縣勤務)
(警視廳警部)　宮本　福松
任警正(延吉縣勤務)
(神奈川縣警部)　前田　繁延
任警正(東寧縣勤務)
(岡山縣警部)　水上　義知
任警正(東寧縣勤務)
(警視廳警部)　東風平玄宗
任警正(密山縣勤務)
(神奈川縣警視)　中村　忠勝
任警正(黑河省勤務)
(愛知縣警部)　倉地　章
任警正(孫呉縣勤務)
(京都府警部)　平林　甲山
任警正(璦琿縣勤務)
(警視廳警部)　笹本正太郎
任警正(奇克縣勤務)

開灤炭礦罷業惡化
各炭礦にも飛火
英國の要望で憲兵、陸戰隊派遣

【天津廿六日發國通】イギリス系開灤炭礦工務局經營の趙各莊炭礦のストライキは依然として惡化の形勢を見せ、二十五日には同山炭礦及び林西炭礦にも飛火して兩炭礦の坑夫は一齊に罷業暴動化せんとしてゐる、開灤工務局では罷業不擴大に狂奔し二十五日天津イギリス租界工部局より日本軍當局に協力を求め來つたので、憲兵隊〇〇名が天津より急行、陸戰隊及び支那側公安局員とゝもに鎮撫中である

遂に暴動化す

【天津廿六日發國通】趙各莊炭礦ストライキに對し當地に達した情報によれば、同炭礦坑夫約一萬はかねて炭礦側に對し給料の値上を要求してゐたが、肯き容れられず、この間隙に乘じた共產分子が尖銳不滿分子を煽動して遂に廿三日表面化するに至つたものである、坑夫側では廿四日朝
一、查工所および入坑パスの廢止
二、賃銀の値上げ
三、坑夫負傷の場合全治するまで炭礦側が平生通り賃銀を支給すること
四、查工所長の即時罷免
の四ヶ條を炭礦側に要求したが、炭礦側では廿六日中に回答すると應酬、坑夫側はこれに滿足せず遂に喊聲をあげて手に〱棍棒を持ち炭礦查工所および事務所に殺到して襲擊して手當り次第に器物を破壞し、炭礦側事務員との間に格鬪を演じ兩者間に多數の重輕傷者を出した、これと共に鑛務局內警察官は小銃を發砲してこれが鎮壓に努めたが氣負ひ立つた坑夫群はさらに技師長室および坑內警察分署を包圍すると共に鑛務局の各出入を嚴重に固め要求貫徹を迫つてをり同鑛務局內には殺氣が漲つてゐる

需要入滿苦力
この分では安心
二月以來の成績順調

今年に入つて大連港經由入港苦力狀況を見るに一月二、一八七八人、二月九、四〇九人、(三月現在まで)二〇、〇六九人で、一昨年度一月六、〇六九人、二月九、一七五人と比較すると一月は船腹不足で激減なるも二月に入つては稍增加を示して居る、而して右は大東公司查證所有者のみの數で滿洲よりの旅行證明書所有苦力の歸滿も上述數の三割餘に上つてゐる現狀に鑑み今年當初山東苦力の北支吸收を豫想して入滿苦力の激減が憂慮されてゐたが、右大連港經由狀況を見ればその杞憂も略々解消される模樣で芝罘、天津威海衛及び青島と同樣重要仕出港たる龍口が復活せば苦力出廻りは急速に激增するものと見られ滿洲國各方面建設の基礎をなす勞働力は十分供給される模樣である

電力案兩院協議會

【東京國通】電力案兩院協議會委員は二十五日午後十一時三十分兩院協議室に參集、初顔合せを行ひ、二十六日午前十時より改めて協議會を開くことゝし十一時四十分散會した、尚貴族院側正副議長は議長井上匡四郎子、副議長矢吹省三男、衆議院側議長櫻內幸雄氏、副議長大口喜六氏にそれぞれ決定した

兩院協議會委員

【東京國通】貴族院再修正の電力案取扱ひに關し民政黨は廿五日午後九時幹事會より更に代議士會を開き協議した結果、兩院協議會に移し兩院の協力によつて同案を成立せしむべしといふに決し、機宜の處置は幹事に一任した、なほ兩院協議會委員は左の五氏に決定した
櫻內幸雄、俵孫一、小川郷太郎、櫻井兵五郎、大麻唯男
政友會でも午後九時半より院內に幹部會、代議士會を開き電力案に對し兩院協議會を開くに決定し、左の五氏を委員に決定した
砂田重政、大口喜六、川島正次郎、清瀨規矩雄、志賀和多利
貴族院の電力案兩院協議會委員は左の如く決定した
兒玉秀雄(研究)井上匡四郎(研究)堀切善次郎(研究)風間八左衛門(研究)矢吹省三(公正)飯田精太郎(公正)細川護立(火曜)岩田宙造(同和)坂野鐵次郎(同成)岡喜七郎(交友)

わが宣撫班
虎口を脱す

【北京廿五日發國通】北支各地に活躍中のわが宣撫班では後方民衆の指揮など宣撫工作に努力日支親善の成績をあげてゐたが、山東省博山で匪賊三千の襲撃を受け辛ふじて虎口を脱出この程歸還した宣撫班長の物語が傳へられた
本月十日山東省博山に向ひ匪賊襲來しつゝありとの報をうけた同所宣撫班長岩尾久一氏は關係各班長と連絡して警戒中のところ十六日夕刻敗殘兵及び匪賊の一團三千が同城に襲來岩田班長以下日本人滿人一名の班員は住民の安全と兵匪の鎮壓に懸命になつて應戰したが公安局及び自衛團貧弱で衆寡敵せず十七日午後二時西方の城門を打破られて雪崩をうつて兵匪は侵入、宣撫班は極力鎮壓に努めたるも萬策盡き遂に疲勞困憊、班員は支那服に變裝して暴虐なる兵匪の手から脫出して、この程歸還した、各地における匪賊襲來は第一に宣撫班の襲擊を目的とし日本人及び親日支那人の殺傷及び鐵道の破壞を企てゝゐるので宣撫班においてもこれが對策を研究中である

山口縣德山港を要港と決定

【東京國通】海軍省副官談=來る四月一日より山口縣德山港は要港と定め德山要港は呉鎮守府司令長官の隷下に屬しこゝに呉海軍港務部支部を設置し、同要港の取締りに任ぜしめることゝなつた

人事往來

着京

▲小日山直登氏(昭和製鋼所社長)廿六日來京ヤマトホテル
▲片山義勝氏(會社員)同
▲內海軍治氏(同)同國都ホテル
▲渡邊義一氏(奉天電通)同
▲松平正雄氏(鹽水港製糖)廿五日來京國都ホテル
▲松岡愼一郎氏(官吏)同滿蒙ホテル
▲松本作次郎氏(會社員)同
▲松井彌次郎氏(實業)同都ホテル
▲宮下末彥氏(吉川組)同
▲山本瀧次氏(滿鐵社員)同蓬萊ホテル
▲石川潤一氏(官吏)同
▲庭野是男氏(官吏)同向陽ホテル
▲足立義之助氏(同)同
▲下村末雄氏(同)同
▲砂野良夫氏(淸水組)同
▲永田修一郎氏(大連二中教員)同國際ホテル
▲須藤信松氏(會社員)同
▲末永喜義氏(官吏)同
▲早川健市氏(會社員)同新京ホテル
▲谷口恒雄氏(國際運輸)同
▲高橋郁郎氏(同)同
▲新野尾善九氏(辯護士)同
▲茶畑市松氏(官吏)同
▲鈴木重治氏(建築技師)同大都ホテル
▲岩之國雄氏(會社員)同
▲鮫島宗堅氏(官吏)同
▲小西幸次郎氏(會社員)同
▲安藤琴三郎氏(官吏)同
▲中村順一氏(扶桑海上保險)同
▲吉本麟太郎氏(會社員)同
▲奧村竹三氏(昭和製鋼所)同
▲上森仁哉氏(實業)同富士屋旅館
▲稻岡基治氏(官吏)同
▲山田卯三郎氏(同)同
▲遠藤隆三氏(滿鐵社員)同
▲三宅滿夫氏(官吏)同
▲田原友輔氏　同
▲宮並敏男氏　同

出發

▲色川千城氏　廿六日哈市へ
▲森脇奉氏　同
▲和田武彥氏　同
▲大槻信隆氏　鐵嶺へ
▲鍋隆二氏　奉天へ
▲下田勝久氏　大連へ
▲築谷保藏氏　廿五日奉天へ
▲矢野善隆氏　大連へ
▲吉田德次郎氏　奉天へ
▲室岡德平氏　吉林へ
▲山東武雄氏　釜山へ
▲中島俊雄氏　奉天へ
▲久山利男氏　同
▲中谷茂氏　同
▲新居西郎氏　大連へ
▲村岡介氏　同
▲久間猛氏　張家口へ
▲石橋一路氏(朝鮮實業家)奉天へ

團体

廿七日の團體往來豫定▲鹿兒島師範生徒一行七十名は午前八時來京太陽ホテルへ投宿、廿八日午前七時十分發哈爾濱へ▲宮崎縣妻中學校生徒一行廿五名は午後三時來京富士屋旅館へ投宿、廿八日午後四時四十分發南下▲奈良師範生徒一行六十三名は午後四時廿分來京旭ホテルへ投宿、廿八日午後四時四十分發南下

その日く

□
議會一日の會期延長、建設的な問題での延長であることを喜ばう
□
その內容によつてこれを長期戰議會と呼ぶこと、また不當であるまい
□
議會終るとも銃後の諸重要問題は殘る、我等は更に覺悟を堅うすべきである
□
そして非常時性が濃厚であればある程、國民生活への對策も肝要となる
□
賑やかな人事の動き、我等は其處に本當の飛躍があるやう希望する

遠慮なく批判して下さい
モンテゴシツプ欄 (11)

花咲爺

昔花咲爺は枯木に花を咲かせたと言ふが、モンテの藤澤實君は、正に昭和の花咲爺だ(當年三十三才の)ワシは迚も感心したヨ。おしぼりと一緒に持つて來た、このホンモノの櫻花の色、匂ひ、味覺、赤木の香懐しいこの折詰の花見料理テヘツ、造花の櫻がトタンにヒラヒラ散つて來たと思つたヨ(滿洲男◇名前を讀めとの御注文、ますを、なんて洒落たつて、チヤン と尻尾が見えてゐます、卽ち古狸です(回答・藤澤)

御稻荷さんか

數ヶ月前始めてモンテへ行つた。係は千枝子さんとか、兎に角は靜岡沼津一寸お茶臭い所があるが、番茶の匂ひがしなかつた事は保證する丈に、提灯に女給樣の御高名を記し、お客樣の頭上高く拜ませてあるは、女尊男卑か、或は茲の女給さんは御稻荷さんの化身か、免角造化の神は女は下に成るべしと教はつてある筈「逆も又眞なり」
…の幾何法則はあれど…扨て御經營者は未だ獨身ならずや。(山中田吾作)
◇…貴郎は造花の神や幾何學法則を御存じのくせに、どうしてこんな平凡な原理を忘れて居られる?それ物はすべて上から下に落ちる事を……未だお分りになりません?(回答、藤澤)
が多い。然らば、紙上にてグーツト一致さん此頃投書に返答如何(藤澤)

滿洲國防婦人會 四月三日發會式

武藤元帥未亡人の列席を得 十一萬會員團結

日滿婦人合體

全滿十一萬の會員を有する滿洲國防婦人會は國防婦女會と國防婦人會滿洲本部との合流に依り四月三日午後一時より新京西公園野球場（雨天の際は記念公會堂）に於て大日本國防婦人會長武藤元帥未亡人列席のもとに華々しく發會式を擧行し非常時婦人の覺悟をもつて銃後の務めに邁進する在滿婦人會はこゝに完全に統一される事となつた、發會式當日は治安部より軍樂隊が出て日滿國歌の齊唱に精彩を加へ會長名譽會長以下理事、監事の役員委囑狀交付を行ひ、植田軍司令官、張國務總理、治安部大臣、武藤夫人の祝辭があり盛會が豫想されてゐる、當日の式次第及び役員の顏觸れは左の如く內定してゐるが全滿各地も新京の發會式に呼應して支部、聯合分會、分會の發會式を擧行する豫定である

發會式次第

四月三日午後一時於新京西公園野球場（雨天の時は記念公會堂）

一、開會之辭（孫夫人）
二、國旗禮拜 一同起立
三、日滿國歌齊唱 一同起立 君ケ代一回、滿洲國々歌一回
四、創立經過報告
五、本會成立宣言（會長事務取扱）
六、役員委囑狀交付 本部役員（會長事務取扱）新京支部役員（支部長）
七、會旗授與（支部長）
八、來賓祝詞 軍司令官 國務總理 治安部大臣 武藤能婦子夫人
九、祝電披露
七、名譽會長 告辭 會長事務取扱 告辭 新京支部長 告辭
十二、宣言 會員代表（日滿兩語）
十二、會歌（日滿兩語）
十三、萬歲三唱 大日本帝國萬歲 滿洲帝國萬歲 滿洲國防婦人會萬歲
十四、閉會之辭（赤木夫人）
備考 進行係（岩坂夫人 金夫人）

顧問及び各役員

▲會長事務取扱東條勝子▲名譽會長張徐芷卿▲副會長東條勝子、星野操、于張芷萃、孫陳常廉、田中操、谷田よね、田中ハジメ、石原錦、平林サト、宮澤ナヲ、御影池せん、神吉ツギ、入江登喜子、富田幸子、岩坂安子、赤木常磐、大橋愛智子、韓王淑貞、德郡祖蔭、賀柏引調、李鄭秋蘭、張寅東菊、張馬秋帆、宋王秀英、兼古海忠之他一名▲審議員四戶糸子、丸山富志、佐藤輝子、溝田芳枝、平井川芳子、皆川操、關屋捷子、舞ハル、長谷部喜代子、牧野喜美子、熙靖、呂秀文、林劉湘雲、榮志潔、谷王元貞、于、蔡胡世芳、朱命翰、武部歌子、井上トシ子▲參與 田中俊文子、町山富、伊藤阿栗、劉勝子、榮李孝竹、齊韶蘭、王吉仁、袝嘉璧、于富馨珊、關口光子、金王奕君、李周文麗、曲淑珍

武藤女史日程

大日本國防婦人會長武藤能婦子女史は四月一日「あじあ」で來京するが在滿中の日程は左の通りである

二日 軍司令部挨拶、舊軍司令部及宿舍見學、市內戰跡見學
三日 故武藤元帥在京當時の軍幕僚と會食
四日 國都建設狀況說明、午後三時廿分發哈爾濱へ
五日 國婦幹部と會見、忠靈塔參拜及市內見學後五時十分發南下
六日 午前九時五十分奉天着忠靈塔參拜、戰跡、市中見學
七日 奉天國婦幹部と會見、午後二時十九分發大連へ
八日 大連市中見學、旅順戰跡視察
九日 大連婦人會員と懇談
十日 大連出帆、離滿

新煙草 アロマ發賣

國產愛用をモツトーに煙草報國に專念してゐる滿洲煙草株式會社ではさきに大秋、五バツト其他數種を發賣してゐるが、更に研究の結果バージニア葉を主體として花の香り柔かいクアロマ〃を新作刺戟を少くして咽喉を痛めず香り高い所謂輕い萬人向の煙草として賣り出しシークな意匠と共に好評を博してゐる

露店もボツ〳〵 吉野町交通制限

午後七時—十一時自動車禁止

新京銀座吉野町一丁目及二丁目の露店開設は例年五月一日より實施され、これと同時に同地域に於ける自動車の通行は禁止されてゐるが本年は稀に見る陽春の兆早く人出も例年に比し著しく增加して漫步の人波に氾濫し隨つて交通の危險率も增大するのでこれが危險防止のため中央警察署では右地域の自動車從斷禁止を一ケ月繰上げ四月一日より實施する事なつた、禁止時間は午後七時より十一時まで露店開設後は東一條通りの横斷も禁止される筈である、尙露店開設は自動車交通禁止に伴つて必然的に例年より早く開設されると見られてゐるが組合よりの願書はまだ提出されてない

鴨と雁の大群 東京城に殺到

北滿の氷もぼつぼつ解けはじめ北滿も漸く雁鴨の狩獵期となつたが北滿隨一の渡り鳥の名產地として知られてゐる東京城方面から本年は近年にない雁鴨の大群で賑つてゐる、この快報に狩獵家は雀躍してゐる

國務院タイピスト通の國防獻金バザーは廿六日第一會議室で開催、平素はプールで事務に忙殺される彼女達も今日は職場をかへたショップガールの手付きよろしく人形造花の販賣に愛嬌を振りまき、なか〳〵の好成績であつた【寫眞はバザー風景】

滿洲國官署對抗 武道大會はあす

午前十時から大經路校で

總務廳主催第三回在京滿洲國各官署對抗武道大會は二十七日午前十時より大經路小學校で擧行せられることとなつた各官廳より選りすぐられた強豪チームは前年度の覇者柔道總務廳、劍道首都警察廳の打破を目指して華々しい爭覇戰を展開することとなつた、定刻一同入場の後國旗に敬禮、平山幹事長の開會の辭につき優勝旗返還式あり星野會長挨拶來賓祝辭、神吉委員長の訓示選手宣誓、審判注意、試合を開始し、途中講道館投の型大日本帝國劍道の型、講道館居合（神影流）講道館極の型の後再び試合を開始肉彈相搏つ激戰の後本年度の優勝者を決定し、優勝旗授與賞品授與參加賞授與の後閉會することとなつてゐる、武神果して何れに微笑むか早くも異常な人氣を呼んでゐるが當日の大會役員及組合せは左の如く決定した

大會役員

會長星野總務長官、副會長神吉總務廳次長、委員長神吉副會長兼任、委員松田企畫處長源田人事處長、古海主計處長堀內弘報處長、徐統計處長、植田監察官、參與蒲田治安部次長、宮澤民生部次長、及川司法部次長、岸產業部次長、西村經濟部次長、平井出交通部次長、幹事長平山會計科長

劍道の部

（第一回戰）郵政總局—治安部（B）營繕需品局—建國大學（第二回戰）（イ）地籍整理局（B）—首都警察廳（A）（ロ）市公署—第一回戰郵政、治安の勝者（ハ）產業部（B）—經濟部（ニ）內務局—中央郵政局、（ホ）總務廳—憲兵訓練所（ヘ）水力電氣—治安部（A）（ト）地籍整理局（A）—第一回戰營繕と建大の勝者（ヲ）首都警察（B）—產業部（A）（第三回）戰以下略

—首都警察（A）（ニ）市公署—產業部（ホ）興安局不戰一勝（ヘ）營繕需品局—交通部（ト）首都警察（B）—司法部（ヲ）經濟部（A）—中央郵政局
（第一回戰）
（イ）—（ロ）（ハ）—（ニ）（ホ）—（ヘ）（ト）—（チ）（第三回戰）以上略

柔道の部

（第一回戰）（イ）總務廳不戰一勝（ロ）水力電氣—治安部（ハ）經濟部（B）

陸軍豫備役編入發表

【東京國通】陸軍では春季定期異動に伴ひ松田巻平中將以下四十七名が廿五日附をもつて豫備役に編入される旨廿六日官報をもつて發表した、主なるもの左の如し

陸軍中將松田巻平、同松村正員、同春田陸四郎、同重藤千秋、同横山正雄、同羽守清一郎、同安達十九、陸軍々醫中將出井淳三、同越川彰、陸軍少將遊佐幸平、同竹內貞郎、加藤保太郎、同土屋兵馬、同西村菊五郎、同今泉吉貞、同藤懸末松、同荻根丈之助、同河村太市、同岡宮夙夜、同横田卓二、同奧村勳、同春良京平、同砂川泰、同高橋政藏、同中非重義、同竹內博介、同幽誠一、同伊崎精、同福島和吉郎、同横井篤男、陸軍主計少將岩永勝典、同十川登陸軍々醫少將武內三千春、豫備役編入被仰付

小鳩母の會 第二回 あす公演會

午後一時から公會堂で

既報、小鳩母の會主催本社後援の下に開催する新京には特異の存在として注目されてゐる童心の集ひ小鳩童謠研究會の童踊第二回發表會は愈よ明二十七日日曜日午後一時から吉野町記念公會堂に華々しく開會するが當日のプログラムは三部に分れいづれも斯界の權威者宮町校原田訓導が振付指導になつたもので父兄母姉の研究批評を仰ぎたいと張り切つてゐる、この日小さい舞踊家の亂舞に童心は場に溢れ盛會を豫想されてゐる、尙入場料は無料であるが玄關に獻金箱を備へ有志の方からの獻金援助に預ること〻なり多數の來會を希望されてゐる

觀光バス 第二回試乘

新京觀光バスは愈よ四月一日より運轉を開始することとなり、二十五日交通會社觀光協會共同主催の試乘會を催したが極めて好成績を收めたので第二回試乘會は二十六日午後一時より旅館、土產商、カフエー、料理店、飲食店の各組合役員その他を招待して行はれた、試乘會終了後引續き三中井で批判會を開催することゝなつてゐる

十文字屋の小火

廿六日午前九時十分頃東二條通り婦人子供服商十文字屋から發火、大事に至らんとしたが祝町消防署急遽かけつけて屋根裏一坪を燒失、同九時二十八分鎭火した、原因はストーブの煙突不完全から屋根裏に燃燒したものであつた、損害は僅徵である

皇軍戰歿者の 天理敎慰靈祭

天理敎滿洲時局委員會主催の皇軍戰歿者慰靈祭は全滿信徒代表參集の上來る四月三日午後二時から北安路滿洲傳道廳に於て盛大に執行されることゝなつた、出席希望者は準備の都合上同廳宛一報ありたし

濱綏線の 夜間旅客車運行

北滿鐵道史上劃期的壯擧としてその實現を待望されつゝある濱綏線哈爾濱—綏芬河間夜間旅客列車の運行は從來しばしば論議されながら沿線地方の治安その他の關係より今日まで延期されてゐたが最近皇軍の寧日なき猛討伐により治安も全く恢復するとゝもに產業、文化開發助成上可及的實現の必要性を痛感するに至り哈鐵當局では關係機關と協議の結果萬難を排し夜行列車運行に決定、目下諸般の準備を講じつゝありダイヤは未定なるも京濱第十九列車（哈爾濱着午後八時四十分）に接續せしめ午後九時半頃發車とし開通日は來月十五日前後の模樣であるが、同夜間列車實現は新京、哈爾濱、牡丹江、佳木斯、林口、綏芬河、圖們を結ぶ北滿交通上の一大飛躍であり產業、文化の發展上一大貢獻を齎すものと期待されてゐる

インチキ髮油賣 遂に御用

二十五日午後四時頃通化路々上附近を徘徊してゐる擧動不審の二人連半島人風の男を折柄警邏中の大同公園派出所員が發見所轄四道街署に連行取調べたところ婦人用髮油類を所持してゐたので嚴重追及の結果右は朝鮮慶尙北道慶山郡安心面生れ、富士町三丁目漢陽旅館止宿朴魯台（三三）及同吳在換（二八）で數日來市內各所の內地人家庭を訪問毛髮の根切虫根治藥とか或は養毛藥と稱しインチキ藥を婦人達に賣付けてゐたかねて當局搜査中であつたインチキ賣藥犯人と判明した、兩名は本月六日頃安東より來京婦人の弱點につけ込んで一儲けを企み京都城田商會製品フケトリ香水「美毛の友」及京都麗澤化學研究所製品「養毛の液」の見本一瓶を所持してこれを種にインチキ藥品を製造の上根切根治藥養毛液と稱し、原價十五錢位のものを一圓五十錢乃至二圓五十錢場所によつては五圓六圓と賣付けてゐたものであつた、被害者は新京一圓に亙り頗る多數に上る見込みで目下嚴重取調べ中である、尙被害者は遠慮なく四道街警察署司法係まで申出られたいと

安田の一行 明日着連

日本書夜銀行貸付課長森下萬太郎氏、安田銀行京都支店長海野康平氏、安田貯蓄銀行京都支店長石原矢之助氏一行は滿洲經濟狀況視察のため二十七日吉林丸で大連入港二十八日湯崗子、二十九日旅大、卅日より四月十一日まで北支視察、十三日奉天より東京十四日滯在十五日哈市に向ひ十六日滯在十七日來京十八日滯在十九日離京の豫定

松田三江省次長 滯京談

松田三江省次長は中央との事務打合せのため來京中であるが最近の治安肅正工作に關し左の如く語る

昨夏八千內至九千と稱せられてゐた三江省の共產匪はその後日滿軍警の討伐により現在では約四千に半減された、移民、產業開發の見地から三江省の共產匪撲滅は刻下の急務であるが熱心なる討伐によつて着々と成績が擧がつてゐる、現在の調子でゆけば本年の夏頃には省內に匪賊の蠢動は無くなると確信してゐる

上加田稅關長

今回新京稅關長に榮轉した上加田成法氏は二十七日午後六時二十分着「あじあ」で來任する

敷島高女修學團便り

敷島高女四年一行無事九州見學を終へ今日別府出帆皆元氣

故富田氏の餘榮

【東京國通】長きあたりにおかせられては廿三日逝去した前衆議院議長代議士故富田幸次郎氏の葬儀に先だち四日祭粢料として金一封を下賜の御沙汰があり、同日代議士田村秀吉氏は宮內省に出頭謹んで拜受した

下田文學博士

【東京國通】東京女子高等師範學校名譽敎授從三位勳二等文學博士下田次郎氏はかねて心臟病で帝大病院に入院中のところ二十四日午後五時五十二分逝去した、享年六十七

普通學校卒業式

新京普通學校第十一回卒業式は廿六日午前十時より擧行、男兒八十六名、女兒四十名計百廿六名を送出した、新京敎育奬勵會賞授與者は朴仁楨、崔錫注の二君である

松岡總裁

滿鐵總裁松岡洋右氏は關係機關と事務打合せのため二十八日午前來京の豫定

高木參與 移民地視察

企劃廳參與經濟學博士高木友三郎氏は滿洲移民地經濟狀況調査研究のため四月四日より二十四日まで北滿移民各地の視察を行ふ

日本基督敎會

一、日曜學校 午前九時半
一、聖書學校 午前九時四十分
一、朝の禮拜 說敎「祈禱による力」石川牧師
一、夕拜 說敎「キリスト者の武裝」石川牧師

日の出を拜する集ひ

二十七日日曜日の出時刻午前六時三十分西公園誠忠碑前、市民早起會行事右終つて忠靈塔參拜

あす（廿七日）

▲事變ニュース映畫會、午後一時及六時、協和會館
▲小鳩童踊發表會、午後一時及六時、公會堂

今晚の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）遠藤衛選子▲七・四〇講演▲八・〇〇ピアノ獨奏と獨唱（大阪）▲八・三〇琵琶「大楠公」（東京）田中旭嶺▲八・五〇浪譚ラヂオ小說「思ひ出の記」（第一夜）藤村秀夫外大ぜい

"南京"
優れた記録映畫、東寶第二彈
東寶文化映畫部作品

◇…さきに發表された「上海」(三木茂撮影)の姉妹篇とも言はれるべきものであつて、製作も殆んど「上海」と相前後して現地錄音によつて行はれたものであると言はれる。抗日の牙城南京を陷れた世紀の大戰捷直後の記錄を收めた歷史的なフヰルムとして前作「上海」と共に東寶文化映畫部の誇るに足る仕事であらう。製作スタツフは撮影白井茂、編輯秋本憲、解說德川夢聲、錄音藤井愼一、作曲江文也と言つた顏ぶれである。

◇…「上海」と比較してみるならば、「南京」は戰線の進展の上から言つて最前線の記錄であると言へやう、カメラは南京目指して進擊を續ける將兵と共に前進してゐる、それだけの距離の差があり、「上海」の後方記錄との間に隨つてカメラの對象にも相違がある譯である、それ以上に製作者達の氣持の上に大きな相違があつた筈である、同じ生のものに向つてゐるのではあるが、「南京」の對象の激しさは「上海」以上のものであつたらう、「上海」の靜かな悲壯感を覺えてゐる者には「南京」から期待するものは上海、南京といふ二つの戰局の差の有つ感情である、「南京」は此感情の流れてゐる點で完しといふことが出來ない寧ろ感情のある點では上海の方が優れてゐると言へやう。何故か「南京」からは浮び上つて來る感情の乏しいことに一種の說明的な(それも極く外面的な親切さだけの)味氣なさを感ずるのである、カメラはもつと「南京」の血と肉とに喰ひ入つて欲しかつたと思はれるのである。然し、かうした要求を割引いてみてもなほ且つ「南京」の水準は高いところを衝いてゐることに間違ひはない。

◇…カメラは先づ南京城に最初の日章旗が飜つた中華西門に喰ひつき支那兵が退路を求めた揚子江岸の城門を寫し出し、これらの城門に如何に堅固な防禦陣地が築かれてゐたかを示すと共に、退却する支那軍の狼狽と混亂の後を示す次いで皇軍の入城式と戰歿者の合同大慰靈祭が繫がるが、これは既に大每東日ニユースなどで公開されたものと殆ど同一である、城門の邊り白衣に包まれた遺骨に對し軍服の兵士(彼は平時にあつては僧侶なのであらう)が捧銃する場面は戰友の前に立つて讀經する場面は戰地の實際を傳へてゐて感銘なきを得ない。

◇…避難民が歸へつて來る皇軍の市街復興工作が始り、この間に點綴する將兵の避難民への慈容の微笑しい風景、轉じて國民政府の本據としての南京に、過去十年の間に蔣介石が施した抗日工作の跡をさぐる、孫文の陵、公園音樂堂、天文台、軍官學校などの施設、それらの總てが抗日の一色に塗りつぶされてゐたのである、これだけの防備經營の苦心を、彼らは何ぜ捨て去らねばならなかつたかを想ひ、一方ではこれらの施設があれだけの戰火を潜りながら殆んど原形を止めてゐることを見、皇軍が決して文化の破壞者でなかつたこととの强調すべきであることに氣がつくのである。

◇…敵首都に迎へるお正月風景、負傷者が原隊に歸へる元氣な場面、これに次いで早くも皇軍の一部は南京城を後に某方面に向つて進軍を開始する「戰ひは終つたのではない、これからである」ことを强調して、進む皇軍の威容にエンドマークが浮び上る。總體に編輯は仲々巧みである、一ケ所戰死者の墓碑にダブつて在りし日の英靈の活躍を偲ぶ場面は芝居であるらしいが、これはこの種實在の記錄を收めたものには不當なものではないかと思はれた、商品的な意識が感ぜられて不可ない。解說は省略すべき箇所が多い、伴奏音樂は優れてゐると思つた。總ての人が一度見ておくべき映畫であらう。帝都キネマ上映中(N生)

裘龜子
廿九日より公會堂開演

春、花の便りと共に訪れるレヴユーの決定版、お馴染み裘龜子一行の樂劇團は來る二十九日より二日間に亘り記念公會堂において華やかに蓋をあけるが、一行陣容は潑剌たる健康美を謳歌する踊り子陣にジヤズバンドその他を配した豪華版、オペレツタ、ジヤズレヴユー等と競ひ咲く絢爛たる舞台の華は陽春好適の呼びものとならう、主要プログラムは左の通り、入場料一圓五十錢

舞踊劇「アリランの唄」二場
寸劇「月形半平太」一場
樂劇「暗い日曜日」全景
樂劇「維納の花」全景
レビユー「美しい國のアルバム」一景

エノケンの 風來坊
春のお笑ひ映画
近日封切
帝都キネマ

サボテン

オリエントのケイ子、國都ネオン街を放浪するかの如く轉々として、街の特ダンネを漁る惡德記者のように振舞つてゐるが▼先立つての新京驛發クはと〃を追つた濡れ場の一幕は見送りの人々をして顏を背けしめた▼悲しさ胸にせまつての落涙が口說きのテに見へたわけでもなからうが、時ならぬ別れの御挨拶が〃はと〃に京鐵砲のかたちだつた傷であらう▼桃園の仲居お淸クンはお人好しのためかお客に擔がれてはコボしてゐる、その一つに▼「新京に素晴しいカフエーがある、その名をトイペルと呼び、そこの女給ジフレスのサービスには何人といへど全身の血が逆流する、だが手を變へ品を替へてのジフレスのサービスもサルバルサンが出て來ると冷めてしまふのでアール」と、作者は中銀理事のオーさん、御參考まで

▽▽鞍馬天狗△△

日活京都作品、嵐寬壽郎の日活入社第一回主演作品として發表する十八番もの、河部五郎、澤村國太郎、原健作、深水藤子、原駒子等が助演、大佛次郎の原作により比佐芳武が脚色、監督はマキノ正博、時は幕末、近藤勇、土方歲三等の焦慮のうちに影の人「鞍馬天狗」は縱橫に活躍する、節分の夜「鞍馬天狗」は女間諜お粂や沖田總司角兵衞獅子の親方で目明しをつとめる吉兵衞を撒いて逃げたが、松月院門前で角兵衞獅子の子供に金を惠むところを目明しの一人長七に認められ、近藤勇の襲擊を受ける、この勝負、引き分けとなつたが、角兵衞獅子の子が恩返しやうとすることより、場面は意外な波瀾を呼ぶ、新京キネマ三十一日封切

紐音

帝キネ「南京」は「海のつわもの」と組んで初日以來好調を見せてゐる後者の客受けは仲々よろしい▼長春座の探偵もの二本、低調な興味本位の寫眞ながら只見てゐる分には退屈しない次週は二十九日から「怪人ブリーブ博士」と好太郎の「浮名ざんげ」來月第一週はシユヴアリエの「微笑む人生」が松竹「母ぞよく知る」と組んで登場する▼豐劇は一旅の陽炎」と「君と唄へば」は相變らず好調、松竹作品も最近封切ものがパツとしない關係上二番プロに力量あるものが並ぶ時には甚だ步が惡い▼長春座にも來月からは月二本の二番プロが加はると言はれる、餘裕が出來て仕事もやり易くならう

忠臣藏
日活東西總動員 活更生記念百萬圓
近日堂々公開 新京キネマ

外貨割當率の激減は資金缺乏の證左
法幣相場愈よ低落

【上海廿五日發國通】上海中央銀行の第二回外貨割當は漢口政府爲替政策今後の動向を示すものとして極めて注目されてゐたが、廿五日中央銀行は第二回外貨割當總額を四十七萬五千ポンドと發表した、金額に於ては前回と略々同額なるも今回は外貨割當申込み額が前回より遙に多く三百萬ポンドに達したゝめ割當率は約一割六分で前回の割當率に比し激減を示し一般に行はれてゐた比較的樂觀的な豫想を裏切ること甚だしく、爲替市場の人氣は再び極度に惡化し法幣相場は一段の低落を豫想されるに至つた、中銀の爲替割當率が著しく縮限されたことは爲替統制資金の缺乏を物語るもので支那幣側の前途頗る困難なるを證明するものであるが、就中日本側銀行に對する割當率が凡そ五分程度にすぎなかつたことは日本側銀行に對する態度を立證するものとして特に注目される

上海爲替市場 ノーマーケット

【上海廿五日發國通】爲替市場は午後も引續き殆んどノーマーケット、市中の買唱へは對日九十一圓丁度、對英一志零片十六分の十五乃至一志一片丁度、對米二十六弗四分の三乃至二十七弗見當で午前と略々變らなかつた、目先急速な反撥は豫想されないが日本側を除く外國銀行の爲替割當が總額に於て前回と略々同額であることや相場そのものが稀に見る安値に落込んでゐることなどからして之以上の低落はなからうと見る向もあるが買人の方でも積極的に買向ふと一層レートを崩す恐れありとして稍々手控の傾あり人氣は依然混沌狀態を續けてゐる

上海銀行家 お茶の會 金融問題討議

【上海廿五日發國通】爲替市場混亂の折から廿四日午後五時半から中央銀行顧問にして上海爲替業者として令名あるイーカン氏の自邸に開れたテイパーテイは異常の關心をひいた、邦人銀行側よりは日銀宗像、三菱吉田、住友川口の各氏、外銀側からは香港上海ナショナルシテイ、ネザーランド、トレイディング、ソサイアテイ等の代表者出席、刻下の金融問題について種々討論をなしたがイーカン氏は爲替制限の次ぎに來るべきものは爲替統制、貿易統制であるとの見解を披瀝、これに對し種々議論も出たがさらに邦人銀行家よりは北支金融政策に關する國民政府及び第三國銀行方面の質疑に答へ和氣靄々裡に散會した

上海爲替市場 全く悲觀狀態
中限第二回賣却高 申込額の一割五分

【上海廿五日發國通】上海爲替市場は中央銀行の第二回爲替賣却高に尠からぬ期待をかけその發表日たる廿五日朝は各國向爲替とも反撥氣勢を示した程であつたがその後香港からの情報を綜合すると中銀の賣却高は全體として申込額の一割五分程度に過ぎず、そのうち日本側への割當は申込額約三十二萬五千ポンドに對し僅か一萬五千ポンドといふお話にならぬ程の少額だといふことが判明し市場ではこれをもつて中銀が事實上統制賣を放棄したものと見做すもの多く賣物全く影をひそめレートは無見當狀態に陷つた

日滿實協 理事會大連開催

日滿實業協會では二十五日午後三時から大連商工會議所に於て理事會を開催、昭和十二年度收支決算を報告、昭和十三年度收支豫算ほか四件を附議したが、第五號試案として來る五月二十六、七、八の三日間に亘り京城で開催される總會提出試案を審議の結果左の如く決定した

一、日滿支間の資金物資流通圓滑化に關する件

彌生會 車輛會社設立 來春操業開始

這般決定を見た彌生會の滿洲進出に就いて同會では奉天に資本金五百萬圓（四分一拂込み）の車輛會社を設立することゝなり四月末滿洲國政府と登記申請をなすはずであるが同社株十萬株の割當は彌生會加盟五社のほかに關係會社數社で八萬四千株を持ち殘り一萬六千株は去る十四、五兩日東京にて一般公募を行ひ好成績の賣行を示した、同社は四月登記完了後直ちに工場の建設、機械設備に着手し遲くも來年春には操業のはこびとなり將來は資本金一千萬圓に增資して機關車、貨車、鑛山機械の製作にあたる筈、なほ彌生會大連組立工場は十三年度貨車四百五十輛生產を豫定してゐる

內地石油對北支 出資プール結成か 朝鮮石油も參加

【京城國通】朝鮮石油の北支進出計畫については現地當局が統制的出資を希望してゐるので朝鮮石油としても他の石油會社と協調して製品輸出をなすことになる模樣でこれが爲め同社木村專務は五月中に渡支、現地當局と具體的進出策につき折衝する筈であるが結局わが國石油會社の對北支出資プールを結成しこれに朝鮮石油も參加することにならう

電々西田部長 歸任談

電々會社では來る廿九日新京本社に於て定時總會を開催今期決算案を可決、六分配當据置を決定する筈である、尙右決算案說明並びに社債問題につき上京中であつた同社經理部長西田猪之輔氏は廿五日入港の黑龍丸で歸任したが語る

本年度發行社債六百萬圓中四百萬圓を來る四月五日鮮銀引受けで一般市場に賣出し二百萬圓は六月末までに簡易保險局が引受けてくれることになつた、これは今年度事業費八百萬圓に充當する、北支關係では蒙疆電々に二百名、北支電政總局に五百名ぐらゐ電々會社から應援に出てゐるが、これら社員の身分は何れ近く決定するはずである

生產供給の合理圓滑化を計る
關東州鹽業會創立

過般大藏省專賣局を中心に開催された鹽務會議の結果確定を見た我國工業鹽輸入額割當決定に從ひ關東州產鹽の本年度輸出數量ならびに價格の決定を見たが關東州においてはこれが生產の合理化ならびに供給の圓滑化を圖るため州內業者を打つて一丸とする關東州鹽業會を設置、關東州廳の助力を得て四月初めまでに創立總會の運びに至るべく鋭意準備中である、即ち過般鹽務會議に出席のため東上した白石州廳內務部長は本問題に關し爾來同會設立に對し斡旋の勞を取りつゝあるが、本年度內地向三十三萬トンの輸出工業鹽トン當り十圓六十錢（關東州FDB）より大體四十錢を徵收しこれを以て同會の資金とし斯業發展に資せしめんとするものである

採金の狀態
草間理事長挨拶

滿洲採金會社總會における理事長の挨拶要旨左の如くである

□滿洲における產金事業に關しては政府においても積極的保護助長の方策をとり昨年五月日本政府の產金買上價格の引上に對應し產金買上法を改正し從來の一瓦三圓五十錢を三圓七十七錢に引上げ且產金の逃避防止等に就いても嚴重なる考慮が拂はれた、引續き重要產業統制法の施行、採金用機材の輸入關稅免除等本社事業の前途は種々の好條件に惠まれたのである□

康德四年度は本社の產業五箇年計畫に順應した本社の增產五箇年計畫の第一年度で其の目標は年產一千四百餘萬圓であつたが之が實行方策として先づ第一に前年に引續き調査採鑛の徹底と云ふ事業の根本策に力を盡し治安狀況の良好な地方には調査に一工一試錐主義を以て進み調査の普遍化と能率增進を圖つた、其の結果黑河方面に新に四ケ所のドレッヂエリヤを確認する外各所に優良の砂鑛區を發見し得た又民間の採鑛を獎勵する爲に獎勵金の交付規程を設け更に各金廠をして採鑛計畫を樹立せしめ之に器材と勸成金を支給する方法を採用し、五ケ年計畫に對する金廠の積極的參加を促した次に採金船の增設である、既に黑河地方泥鹹河に活動しつゝある採金船の外四年度は金山鎭方面の達拉罕並に倭勒根河に十立方呎一隻づゝ及び小石頭に十五立方呎と五立方呎ドレッヂャー一隻づゝを搬入した、尙新規建造計畫を黑河、土門子方面に付樹立したのである、其の他既定計畫として手掘採掘の擴張に努めた結果昨年上半期即ち六月迄に產金額五百十四萬五千圓と所期の對前年五割增產を突破し目標額に達する事も至難ではあるまいと豫想せられたのであるが、然るに支那事變の發展に伴ひ斯業の最盛期ともいふべき七、八月以降勞働者の減少と云ふ突發的障害に直面し又時局に伴ふ內地メーカーの大繁忙の爲採金船建造の上に支障を來たする至つた、結局昨年中の產金額は一千二百萬圓で前年に比較し二百二十萬圓餘即ち二割三分三厘強の增產となつた次第である□

經理關係は昨年度は積極的增產計畫の實施に加ふるに材料高を伴ひ所要資金は前年に比較して巨額に達し興業費關係のものであるが之等は主として未拂込株金の徵收に依つて之を處辨した、營業收支は總收入金一千二百二十八萬六千百十六圓で之に對する總支出は一千百五十四萬七千三十圓を算し、結局差引七十三萬九千八十六圓の利益金を計上した□

五年度事業の方針は採金船に於ては泥鹹河鑛業所の二隻を始め、節流の達拉罕、小石頭の建設作業が完成するので年內には合計六隻其の全能力四十八、五立方呎が操業する、此の外建造中のドレッヂャーは五立方呎船二隻、十立方呎船三隻、五立方呎船二隻、十立方呎船二隻六・五立方呎計七隻で何れも六年中には完成、操業に至る豫定で結局六年中には合計十三隻の操業をみる豫定である、さらに本年度においては從來發見したドレッヂエリヤには經濟的最低限度までドレッヂャーを稼行せしむべく着々研究中であるまた勞働者も勞工協會等と協力、手掘可採鑛區には最大限まで入鑛せしめるのである、調査關係では政府の山金及び砂金に對する採鑛採掘助成金の交付と相俟つて其徹底を期するつもりである、治安方面も軍部、警察の積極的援助により徹底的に改善を期し極力事業の進展を計りたいと思ふ

商況欄 二十六日前場

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅二片〇〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇〇
倫敦銀塊 二〇片八分三
同先限 二〇片一六分一
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 五一留比一六分七

▲紐育株式
スチール株 四四弗四分三
アナゴンダ株 二五弗八分七

▲市俄古小麥
五月限 八五仙八分七
七月限 八二仙二分一
九月限 八三仙四分一

▲紐育棉花
現物 八仙七三
五月限 八仙六七
七月限 八仙七二
十月限 八仙七八
十二月限 八仙七九
一月限 八仙八一
三月限 八仙八六

▲印棉
ブローチ 一六五留比二分一
オームラ 一四八留比八分三
ベンゴール 一三七留比〇〇〇

カルカツタ麻袋
青 二三留比一六分一
鐵筋 二〇留比一六分二

▲外國爲替
米英爲替 四弗九五仙一六分三
米日爲替 二八弗九二仙
米支爲替 二六弗九〇仙
英日爲替 一志二片〇〇〇
英支爲替 一志二片八分一
印日爲替 七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替
紐育向 二八弗八分七
倫敦向 一志二片〇〇〇

阪神爲替
對米賣 二八弗八分
對米買 二八弗三二分二九
對英買 一志二片三二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一六六〇	一六六四〇
鐘新	八九〇〇	八九六〇
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	三一三〇	三一三〇

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一六六〇〇	一六六一〇
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	八八〇	八八六〇
大新	三三〇	[illegible]

各地商品市況

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
土地	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

▲大阪綿糸

限月	寄付	大引
三月限	三二〇〇	三二〇〇

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
四月限	二二八五〇	二二九一〇
五月限	二三三〇〇	二三四〇〇
六月限	二二八〇〇	—
七月限	二二四一〇	二二五三〇
八月限	二二五七〇	二二五六〇
九月限	二二七三〇	二二六八〇

▲大阪人絹

限月	納會	
當限	五七二五	—
先限	五七三五	五七三〇

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	七四〇〇	七三八〇
先限	七七一〇	七七一〇

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
當限	三五一五	三五二五
中限	三五三三	三五二七
先限	三五六一	三五四五
現物	六九〇〇	—
當限	六七〇〇	六七八〇
先限	七〇〇〇	—

各地特產市況

▲新京

品名	寄付	引	出來高
現物大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
●大豆 先物			
三月限	五、三〇	五、三三、五	一四八車
四月限	五、三六	五、三九	一八二車
●高粱			
三月限	—	—	
四月限	—	—	

▲大連

品名	寄付	大引
●大豆		
現物	六二三	六二〇
三月限	六二一	六〇六
四月限	六二〇	六二二
五月限	六二四	六二七
六月限	六二七	六三三
七月限	六三二	六三六
三等豆	—	—
●粕		
三月限	二二五〇	二二五〇
四月限	二二五五	二二五五
五月限	二二六〇	二二六〇
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—
●油		
現物	一二九〇	一二八〇
四月限	一三〇〇	一三六〇
五月限	一三〇〇	一三九〇
六月限	一三二五	一三一〇
七月限	一三一〇	一三一〇
八月限	—	—

舊三月二十七日 日曜 戊午 先負 平 星宿 七　東京・本郷・神誠館

●一白の人　正しき道に入れば何處までも進み進て吉し　巽と北と乙が吉
●二黑の人　移り氣と口を愼みて奮闘すれば大吉と成る　乾と巽と庚が吉
●三碧の人　小事には差支なきも大事は後日に廻すが吉　艮と壬と丙が吉
●四綠の人　輕々しく乘り氣になれば存外の破敗を蒙る　北と壬と丙が吉
●五黃の人　區々たる小節を捨て高所より大觀して進め　南と乾と丙が吉
●六白の人　積日苦心の效果現るゝ日但し和合大切の事　南と艮と壬が吉
●七赤の人　甲斐なき外事に辛勞するより內を整が利得　南と乾と巽が吉
●八白の人　待ちに待たる花の開く日名弘開店何れも吉　南と丙と庚が吉
●九紫の人　運勢揚らず爲す事多く行違を生ずる注意日　坤と北と乾が吉

青春の宿（一六六）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

愛憎二筋道（一）

『もつとも——』と、銀藏はつゞけて『僕がきいたところでは、讓治君は、昔の惡い仲間とは絕交してゐるといふことで……この大庭東城が、昔の仲間なのかどうかは知りませんが……獨力で復讎しようとしてゐるのだと云ふことを聞いてゐたので、ちよつと意外に思ひますが……しかし、讓治君がこんなことをした理由には充分同情の餘地があると思ひます——この新聞記事では、讓治は、實に憎むべき惡漢になつてゐますがこれでは、讓治君が可哀さうです、僕は警察へ行つて、讓治君の同情すべき點を話して來やうと思ひますが……』

『いやーーお前が、さう思ふのも無理ではないが、いまは出るときではない。警察でもいづれは讓治君の口からなりどこからか、その事情をきかれるだらうし……また、讓治君のために辯護してやりたいといふなら、裁判になつた時にしても、決して、遲くはない』

『それより、氣にかゝるのは耀子のことだ——』

その言葉に、昂奮してゐた銀藏は、はつとする。いまゝで忘れてゐたのだ。

昨夜、九時近く、讓治の友人といふのから電話がかゝつて、外出した耀子は、たうとうけさまで歸つて來なかつたが、父も、兄も、別に心配はしなかつた。讓治を信賴してゐたし——父にしてみれば讓治と外泊したであらう耀子が男女間のある過失を冒しはしないか、と、それが、ちよつと心がゝりであつたが……何よりも、この父子は、耀子を信賴してゐたのである。

——決してあの子は、間違ひは冒さない……と、かたく信じてゐたのである。

だが、その相手である讓治が、昨夕五時頃、岡見の娘を誘ひ出した、と新聞には出てゐるのである。

『たぶん、讓治君と一緒にゐるのだらうと思ひますが』

と、銀藏はいつた。

『耀子は、讓治君の岡見に對する復讎心には相當大きい同情を持つてゐたやうですから……』

とにかく、耀子は、うちに歸つてゐるかも知れないと考へて——自宅へ電話を掛て見たが、まだ歸つてはゐないといふのであつた。

『どうしたらよからう』

銀平の面には、次第に不安の色が濃くなつて行つた。

『こんな風に書き立てられて……切ばつまつた時に、早まつたことをされてはのう』

『それが、僕も心配ですが……捜査願ひを出すわけにも行きませんしねえ』

『さうぢやーー』

父と子は、たゞ困惑した顏を見合すばかりだつたが

『新聞に通知廣告を出しませうか』

と、銀藏がいつた。

『新聞に、よく出てをるでせう、急用あり、電話をかけよ、とか、心配のあまり危篤、すぐ歸れとかいふ——あれを出してみませうか』

『さうぢや、そのほかに方法はないのう』

『では、あすの朝刊に間にあふやうに、出してもらひますが、急用あり、電話かけよ、といふのがよいでせうねえ。新聞記者に、かぎつけられるとうるさいし、それで充分、氣持が通じますから……』

『しかし、大阪……の近くにゐなかつたときは——?』

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

第七十三國會閉幕

擧國一致反映
各種重要案審議進捗す
廿七日閉院式擧行

【東京國通】戰時議會として また近衛內閣最初の通常議會 として擧國一致體制下に開か れた第七十三議會は、幾多の 波瀾を重ね、殊に休會明け劈 頭提出された電力案のみが最後までひつかゝり會期一日延長を餘儀なくされ、兩院協議會に移され最後まで難航を極め樂否兩樣の觀測が行はれ、明暗常なき運命をたどり、漸く廿六日夜に至り政府、貴衆兩院三者の歩み寄りによつて辛うじて妥協案が成立兩院を通過成立を告げたのを最後として廿六日深更閉幕、廿七日午前十一時貴族院で閉院式を擧行せられることゝなつた、

なほ今議會における議案審議狀況は政府提出議案豫算案十四件、決算三、承諾案一、法律案八十六件全部兩院を通過成立を告げ、わが國議會史上空前の好成績を收めた

難産の電力案
深更兩院を通過

【東京國通】電力案は廿六日午後の兩院協議會に政府側も出席、最後的折衝を重ねた結果午後八時に至り兩院、政府の三者歩みよりに折衷妥協案を得るに至つたので十時半から兩院本會議を開いて右妥協案を上程可決した、かくて難航を續けた電力案は會期一日延長によつて漸く兩院を通過し議會は深更閉幕となつた

妥協案內容

【東京國通】電力妥協案の內容左の如し

一、會社法第九條第二號中「五年間の實績」とあるを「十年間の實績」に改む

一、同第十五條第一號中「勅令の定むるところにより」を削除し、同條第三號中「買入請求者の同意ある場合又は特別の事情ある場合は」の字句を挿入し、さらに「」を「政府保證社債券をもつて」「政府保證社債券の時價をもつて」と改む

なほ第九條ならびに第十五條以外の點左の如し

一、會社法第卅二條の免稅規程は衆議院修正通り削除、同時に第廿八條の納付金の規程も削除すること

一、同第廿二條官吏の會社入り禁止の規程は貴族院再修正通りとすること

一、官吏法第一條「電氣の價格を低廉にし、その量を豐富にし、これが普及を圓滑ならしむるため」の文句は衆議院修正通りこれを存續すること

政黨本部占據事件
今議會報告中止

【東京國通】政黨本部占據事件その後の取調べ情況の報告に關しては政黨側の要求により政府は廿六日夜の衆議院本會議において末次內相よりその概要を說明すべき豫定となつてゐたが、その後政黨側より政府に對し折衝の結果事件に對する取調べも未完了であり、從つて單なる中間報告に終るべきを理由として今議會に於ては結局報告を取止めることになつた、仍つて政府は事件取調べの完了をまつて適當の機會をみて眞相の發表を行ふことゝした

待望の日華經濟協議會
覺書調印成立す
日支提携經濟開發に邁進
根本方針闡明さる

聲明同共

【北京廿六日發國通】日支提携により北支經濟開發の最高機關たる待望の日華經濟協議會設置の覺書調印式は廿六日午後三時半北京外交大樓においても嚴肅に行はれた、日本側からは北支派遣軍最高指揮官寺內大將代理並に平生釟三郎、大野龍太、湯川元威の諸氏及び中國側からは行政委員長王克敏氏並に王時璟、殷同の諸氏が調印式に參列記念すべき日華兩國語による覺書二通を作成各代表は順次調印を了し、次で日本帝國、中華民國萬歲を三唱して祝杯を擧げたのち日支提携經濟開發の根本方針を日本軍司令部中華民國臨時政府共同聲明の形式で左の如く中外に闡明した

本日日華經濟協議會の設立を見るに至れることは寔に慶賀に堪へざるところなし惟々ふに過去私閥の秕政に苦しみ今日の戰禍の

創痍

未だ癒えざる中國の民衆に再生の方途を與へその民生を安んじ、民度を向上しもつて中國再建の緒を開き東亞眞實の平和的建設を齎さんとせば今日直ちに中國經濟の復興、產業開發に着手し速かに其促進を期するの要あり、こゝに右開發促進の機關として本協議會の設置を見るに至るものとす、本協議會は日華各五名の委員をもつて組織し會長は中華民國臨時政府行政委員長をもつてこれに充て副會長は日本側委員より選任せられることゝなれり、協議會は經濟、產業の部門に應じ部會を設け各その

專門

事項における重要事項を企畫立案してこれを協議會の審議に附したるのち實行に移さんとするものなり、協議會委員中取敢へず選任の手續を了したるもの左の如し

會長 王克敏
副會長 平生釟三郎
委員 王時璟
大野龍太
殷同
湯川元威

即日第一回會議開催

【北京廿六日發國通】日華經濟協議會設置に關する覺書は豫定を變更しいよいよ廿六日北京外交大樓において北支派遣軍最高指揮官寺內大將代理及び中國臨時政府王行政委員會委員長との間に正式調印を行ひ同協議會は日支提携北支經濟開發の最高指導機關として輝かしい誕生を見ることゝなつた、右覺書調印後日支兩國委員の氏名を交換同四時より第一回會議を開くことゝなつたが、これと同時に軍當局及び臨時政府はそれぞれ當局談をもつて同協議會設置の使命、日支提携經濟開發根本方針を中外に闡明し兩國委員の氏名を發表する筈

會長王克敏氏談

【北京廿六日發國通】日華經濟協議會會長王克敏氏は次の如く語る

中國民衆の生活を安定し經濟力を充實せしめることは今日の急務である、この目的をもつて本日こゝに日華經濟協議會の成立を見、日本軍司令部及び臨時政府の共同聲明發表の運びに至つたことは眞に兩國のため慶賀に堪へない次第である

副會長平生氏談

【北京二十六日發國通】本日日華經濟協議會が軍司令官と行政委員會委員長の間の覺書交換によつて成立したことは目下の事情において最も適切なる措置である、これにより日華兩國の委員が經濟の發達、產業の進歩を目的として兩國のため努力したならばいはゆる日華共存共榮の實をあげることが出來ると思ふ、本日こゝに同協議會の成立したことを衷心より喜ぶと共に自分も委員の一人としてその目的に向つて邁進する考へである

外務省辭令

【東京國通】外務省辭令（廿六日附）

大使館參事官 男爵 富井周
任特命全權公使 カナダ駐劄被仰付

外務省文化事業部長 岡田兼一
任特命全權公使 南阿聯邦駐劄被仰付

大使館一等書記官 蜂谷輝雄
任外務省文化事業部長

領事 山崎誠一郎
任總領事 間島在勤を命ず
なほ前間島總領事川村博氏は近くハンブルグ總領事に轉出する筈で、間島總領事館は三月限りをもつて閉館することになつてゐる

臺銀異動

【東京國通】臺銀では二十六日左の異動を發表した

上海支店支配人 平野藤三
命東京支店支配人

シンガポール支店支配人 金田武治
命上海支店支配人

本店副支配人 原田幸雄
命シンガポール支店支配人

不法重なるソ聯兵
わが郵便物奪取
外務局嚴重抗議

ソ聯側は從來國境方面においてしばしば惡辣なる不法越境ならびに不法拉致事件等を繰返してゐるが、最近又復ソ聯兵がわが郵便物を奪取した事件が引續き二回にわたつて發生した、外務局では哈爾濱駐在特派員を通じソ聯總領事代理クズネツオフ氏に嚴重抗議を發し、被拉致者及び物件の至急返還方を要求中である、ソ聯兵不法事實左の如し

一、二月廿四日撫遠縣郵便局員一名は撫遠縣城より東安鎮方面へ遞送すべき郵便物四袋を携行出發し、縣城を去る五十滿里の地點小河子東方圈河においてソ聯兵に襲撃され、郵便物諸共ソ聯領に拉致された

一、二月廿二日午後一時頃饒河縣東安鎮上流約二十滿里の南屯附近においてソ聯兵約十名は、わが郵遞車を襲撃し郵便物及び遞送夫一名及び郵便嚢二ならびに農夫一名を拉致した

江南地區戰果目覺し
廣德附近大殲滅戰展開せん

【杭州廿六日發國通】江南地區掃蕩右の如し

一、佐藤、高橋兩部隊は田上部隊と策應、廿六日廣德東北方張渚鎭地區において約五千の敵を完全に包圍し今や大殲滅戰が展開されつゝある

二、片山部隊および下川部隊は錫柄部隊と協力し蘇州、杭州 嘉興間に潛入せる敵を包圍擊滅するため二十六日勇躍进擊を開始した

三、小堺部隊廣瀨隊は二十五日迫擊砲三、重機數挺を有する敵兵五、六百と廣德東側地區にて交戰し激戰の後遂にこれを西南方に擊退した、この戰鬪において齋藤宗秋中尉および下士官一名壯烈なる戰死を遂げ外に負傷者十名を出した、敵の損害は遺棄死體のみにて百を數ふ

合の衆を集結して如何なる方策に出るかゞ興味の焦點である

安慶、廬山空襲

【上海二十六日發國通】海軍航空隊は廿五日正午過ぎ安徽省安慶および廬山の皇子軍官學校を空襲した、密雲深く垂れこめて視野を阻まれる惡天候であつたが、この困難を見事に克服し目的を達成非常な效果を收めた

津浦線重壓
敵宿縣に集結

【蚌埠廿六日發國通】確實なる情報によれば、廿六日朝來固鎭の敵は大部をあげて宿縣に集結中で、敵はわが津浦線南下軍の重壓を受けつゝあり徐州の南方防衛の本據を宿縣におき北上軍の進擊を阻止せんと企圖しつゝあるもの如く目下固鎭には殆ど敵影を認めざる狀況である

鈴木部隊
午城鎭、大寧附近突破

【石家莊廿六日發國通】山西南部掃蕩中のわが鈴木部隊は廿五日正午午城鎭、大寧の南地（靈石南方約二十里）附近にある一千五百（七十師）の敵を攻擊し激戰の後敵は死體二百、トラック二十八臺を殘して潰走、わが方の損害僅に負傷者二名のみ

奧村部隊
共產軍擊滅

【太原廿六日發國通】奧村部隊は廿三日鐸村（沂縣東方約二十キロ）東方地區において約二千の共產軍と遭遇、激戰四時間の後これを潰滅せしめた、敵の遺棄死體約六百、負傷一千を越えてゐる、また同夜大南郡村（沂縣東方約十六キロ）に宿營するや午後九時須千數百の敵が猛烈に夜襲し來たりしも奧村部隊の反擊にあひ一とたまりもなく擊破された、この戰鬪でわが方戰死一、負傷六である

沂州東側
完全に占據

【兗州廿六日發國通】廿五日午前〇〇部隊は沂州東北三里の三官廟を奪取し沂州城東側一帶は沂河を隔てゝ獨樹鎭、三官廟、郁九曲等悉くわが手に歸した、津浦線東北地區に散在した支那軍は臺兒莊方面への退路を遮斷され周章狼狽し續々沂州に移動しつゝあり孤立の沂州城にあつて總指揮に當る敗將張治中がこれら烏

蒙古自治政府
主席雲王逝去

【綏遠廿六日發國通】蒙古聯盟自治政府主席雲王は廿四日午後六時鄕里百靈廟において逝去した、享年六十九

雲王は德王とゝもに「蒙古人は蒙治を達成すべきだ」とのスローガンをたて、蒙古五百萬民衆に呼びかけ、昭和八年七月百靈廟に內蒙自治政府の組織を決議して南京政府にたゝきつけ同自治政府の委員長となり南京政府の彈壓に抗し昭和十二年十月（成吉思汗紀元七百卅二年）つひに蒙古聯盟自治政府の主席に推され、その人望は內蒙古人の尊敬の的となつてゐた

人事往來

▲渡部豐一氏（會社員）廿六日東京國都ホテル
▲高吉友次氏（商工省）同
▲小田虎夫氏（會社員）同
▲佐藤滿太郎氏（實業）同中央ホテル
▲吉成又市氏（會社員）同
▲山中圭三氏（同）同
▲東嘉一郎氏（同）同都ホテル
▲乾俊郎氏（同）同
▲都築力雄氏（淺野物產）同

偶語

戰時體制下の重大時局に於て政局不安などは緣起でもない▼デマにしろ風說にしろ乃至ためにせんとする宣傳的流言にしろ對外的には勿論對內的にも其影響するところ尠しとしない▼しかるに昨今その噂さが飛び廻つてゐる▼議會は終了したが重要議案がまだ山積してゐるそれは政府の力が足りないためである▼擧國協力の波に乘りながら事態斯くの如きは現內閣非力の致すところである▼須からくこの際更に強力な內閣を迎へて時局對處に遺憾なきを期せねばならぬと言ふのである▼成る程重要案件は山積してゐるしかしそれを以て直ちに現內閣非力の致すところと云ふ斷定は聊か的外れではあるまいか▼如何に政府が強力でもそれを鵜呑みにせしむることの出來やう筈がないのである▼擧國一致協力一致それは皆に戰時に對處すべき國民の態勢であるとして▼わが國民はいよいよこの態勢に遺憾なきを期せねばならぬ

社説
支那の關税と農業

對支經濟工作の基本は言ふまでもなく日滿支ブロック經濟の建設にある。すなはちわが國の國防經濟と三國ブロック經濟を中樞とする統一的計畫に準據して日滿の既存産業と極端な相剋摩擦を來さないやうに支那經濟を導き以て三國共榮の實を擧げ得るやうな關係を作ることにある。

しかし數個の獨立國が一つの經濟ブロックを構成せんとするに際しては、それら關係國の利害が全的に融合統一し得ることの容易でないことはもとより論を俟たない。日滿支の場合に於ても、それ〴〵の經濟段階が著しく異る實情に徵し、ブロック本來の理想のやうに關係國經濟をすべて融合統一せしめんとするには、幾多の障碍存せざるを得ない。支那の國民經濟は今なほ極端な農本的經濟にあり、支那農村は支那人口にしても、生産にしても、全生産の八割以上を占め、したがつて農村經濟が全く支配的であつて、都市經濟はわづかに農村のそれに依據して維持せらるゝに過ぎない有樣である。

故に、工業國日本と農業國支那との經濟段階には非常な差異があるわけであり、これを度外視して單一經濟ブロックを建設しようとすれば先づ關税問題において重大難關に逢着するであらう。關係三國經濟を打つて一丸とするには少くとも主要生産品の三國間における輸出入が或る程度まで自由でなくてはならぬが、簡單にはこの事は實現出來ない。蓋し三國經濟進歩の段階に甚だしい差異があるため、三國の經濟秩序が破壊される惧れがあるからである。この際は、先例にとらはるゝことなく一種の全く新しい性質を持つ關税同盟、特定關税が生るべきであらう。

關税政策と産業政策は相表裏して存在するものである。支那經濟に最大の實力を有するものは支那農業であるから支那の産業政策は當然その農村振興に基調を置かねばならず、關税政策もまたこの線に沿つて決定さるべきである。

支那農業、農村の振興甦生はまた新支那建設の上から言つても最重要の事である。支那の農業經濟は政府多年の惡政打ちつゞく天災等のために甚だしく困窮してゐる。彼等の救恤を要すること今日より切なるはないであらう。これには更に資源の開發を實行することによつて彼等支那民衆の福祉增進に寄與することが肝要である。これには速かに具體的計畫を樹ててその實現に邁進すべきである。その他農業技術を傳へ、農村金融を改善し、生産配給機構を整備し農業資源の工業原料化に努める等、なすべき事は多々あらう。それはまた同時に民心を收攬し政治の安定を來さしめる效果をも持つに違ひないのである。

白瀬大尉探險の南極領土の確認
外務省近く宣言せん

【東京國通】明治四十五年白瀬中尉が海南丸に乘つて探險した南極地方は國際法上の先占の權利により

當然

わが國の領土と認められるが、わが政府は何故かその宣言を行はぬため白瀬中尉等が苦心の末探險した大和雪原、大隈灣、海南灣一帶の土地はまだわが領土と認められず南極領土權確保既成同盟會日本探險協會はじめ關係方面では極力政府に領土確認宣言を要望しつゝあつたが、日吉既成同盟會長等は廿四日外務省に松本政務次官を訪問、當局の方針を質したところ次官は速かにその手續きをとることを言明外務省では同日齋藤駐米大使に宛てこれに關して米國政府と折衝を開始すべき事を電命した、かくて明治四十五年以來廿七年間宙に迷つた南極大陸のわが領土もいよ〳〵日本領土として近く中外に宣言されることゝなり白瀬中尉の報告の赤誠も漸く實を結ぶことになつた、而して米國のバード少將が第二回の探險に當り白瀬中尉の探險した地域を再び探險して米國式の命名を行つたが、その後既に白瀬中尉の發見にかゝる地であることを知つて昭和十年これを取消し日本に先占の權利あることを認めてゐるので米國政府も右のバード少將の證言によつてわが

先占

を認めてゐるから異議なく承認し南極大陸の一角に大日本帝國の新領土が近く生れるものとみられる

北支關税率改訂 英下院討論

【ロンドン廿四日發國通】バトラー外務次官は廿四日英國下院に於て保守黨議員の質問に答へ北支關税率改訂問題に關し次の如き答辯を行つた

今般改正を見た北支の新關税率が日本側に有利に傾いてゐるのは明かであるが、之がため英國の北支貿易が蒙つた損害については貿易團體の一般的不平以外には今迄の處税率改正による被害の實例はあがつてゐない英國政府の抗議に對しては日本政府より回答に接したが、右回答において日本政府は關税改正は北京臨時政府によつて發令されたもので日本の關知し得る處ではないと述べ北京臨時政府が復興と救濟のため必要不可缺なる若干の商品に税率の改訂を行つたのは止むを得ぬものと主張すると共に今回の税率改正は何等第三國に對する差別的待遇とならぬのみかその結果冀東特殊貿易を一掃する效果をも持つと稱してゐる

尨大なる北滿産業「開發計畫樹立」
廿八日哈鐵を中心に
滿鐵産業課長會議

滿鐵では北滿産業開發に積極的活動を開始する事に決定、來る二十八日より哈爾濱鐵道局において全滿産業課長會議を開催、平島理事以下各鐵道局産業課長出席の下に北滿現地の經濟産業狀況を再檢討し重要協議を遂げ根本方針樹立に資することゝなつたが、本會議に哈鐵より提出の北滿産業開發に關する具體的事業計畫は左の如く鐵道保有林設置を始め尨大なものである

一、附帶事業
イ、哈爾濱汽水(サイダー)製造所の管理、販路擴張並に施設改善、製瓶工場の增設立案實施
ロ、畜産加工所、加工品の販賣斡旋並皮革加工品利用
ハ、林業所、細工加工利用並に林業全般の臨時調査

二、農産
農事試驗場の整備改善、海倫試作場經營、採種場整備改善、農産物改良增殖、自警村の合理的經營、愛護團の産業指導方針確立、優良種子配付、委託採種田園の設置監督指導、農産品評會開催、增收競作圃設置、農事講習講演會開催、優良農器具の普及獎勵、青年自警村農事經營指導、自警村の指導訓練、土地開墾助長調査

三、畜産
畜産改良及び增殖計畫、種畜場整備改善、模範養豚部落設置、加工所原料肉畜增殖、家畜傳染病防遏、種畜場經營、種豚繁殖育成、種羊、種牛、短角種牛、種鷄繁殖育成家畜の配附並に管理指導、耕馬品評會講習講演會、畜産物共同販賣斡旋羊毛革皮、ルーサン干草、種豚種附所設置、畜牛肥育委託試驗、エンミレーヂ調製利用獎勵養豚組合助成指導、豚コレラ炭疽牛疫鼻疽檢疫等獸疫の豫防制遏、貸附種牛藥浴、一般調査

四、林業
鐵道保有林設置計畫、保護林造成、人工造林に依る鐵道備林の造成、苗圃施設統制整備、自警村並に愛護團に對する薪炭備林計畫、養苗作等、將勵造林、綠化工作、適樹試驗、製炭講習會開催

五、殖産
特産物品位改善、穀物精撰機配附、鑛物發見獎勵、工業地區の設置援助、小規模加工業助成、北滿土産品販賣斡旋、愛護團物資共同購入斡旋實行、合作社事業經行援助、廟會助成

鐵驪二千町歩の機械化農場
愈四月より開始

滿鐵産業部農林課で計畫中の濱江省の呼蘭河上流鐵驪機械農場約二千町歩の開拓はいよ〳〵來る四月より豫算三十六萬圓を以て二ケ年繼續事業として開始することに決定、第一年は建築物と機械の購入据付けをなし第二年度より本格的に業務を開始することになつた、而してこれが成功の曉は更に附近を開墾して行くもので滿鐵における機械農場の最初の試みとして期待される

總局で區間を限り 畜牛、緬羊等運送禁止
家畜の傳染病を豫防

鐵道總局では家畜傳染病の跳梁期を控へこれが豫防の完璧を期するため滿洲國當局と協力豫防注射その他各種豫防施設の擴充をなすと共に左記區間において畜牛および緬羊(又はその屍體)或は口蹄疫、牛疫病等傳播の惧れある物品の運送を禁止することゝなり廿五日より當分の間實施することゝなつた

一、左記各驛相互間
大鄭線　阿爾鄉—白市間各驛
白溫線　葛根廟—索倫間同
平齊線　金寶屯—東屏間同
葉峰線　玉皇反赤峰驛
連京線　新京—大楡樹間各驛
京圖線　新京—土們嶺間
奉吉線　南溝—圖們間同
平梅線　取柴河—葦山屯間石嶺驛
朝開線　朝陽川—開山屯間各驛
圖佳線　老松嶺—圖們間同
拉濱線　三棵樹—上營間同
京濱線　全驛
濱綏線　同
濱洲線　哈爾濱—喇嘛甸子間各驛
濱北線　三棵樹—海北間同
京白線　新京—新廟間同

二、左記各驛と全滿各驛相互間(但し畜牛、緬羊にして豫防注射實施後十二日以上經過したものは可)
奉吉線　吉林—雙河鎭間各驛
京圖線　河灣子—哈爾巴嶺間同
拉濱線　拉法—馬鞍山間同

滿鐵辭令
(天津鐵道事務所)
新京電氣區長　職員　治部正躬
天津鐵道事務所電氣班所勤務を命ず(三月十六日)

全滿司法會議に於る 及川次長指示

顧みれば過去六年間本部、地方各職員互に協力致して只管司法制度の整備充實に邁進して來た結果康德三年七月法院組織法の實施をはじめとし昨年に至りては刑法、刑事訴訟法、民法、商法、民事訴訟法等司法の根幹を成すべき重要法典順次に施行せられ續いてこれ等に關する施行法等諸般の法規亦殆んど完成を見るに至つた、さらに本年度においては民法親族編、相續法、人事訴訟手續法、破産法、和議法、信託法、保險契約法等の諸法規の起草に着手し速かに之が完成を期しつゝある次第であるが我司法部としては先づ第一期の準備時代を經過して今や其の運用の時期に到來したるものと謂ふべく寔に重大時機に際會したるものと謂はねばならぬ

新法令の解釋運用一として重大ならざるはなくこの際特に各位と共に注意を要するものは調停法である、爭議を調停により解決せんとすることは近時世界各國の趨勢であるがわが新調停法は調停の妙諦を發揮すべく特に新機軸を加へたものであるからその運用宜しきを得ば民事に關する爭議は實にその大半これにより解決し得べきことを確信するものである、こゝに各位はこれが運用に關しては

深甚

の注意を拂ひ十二分の效果を發揮するやう努力されたいのである尙領事裁判權の撤廢に伴ひ日滿兩國の司法事務共助に關する取極めを必要とする譯であるが、本件については既に兩國共に夫々國内法をもつて制定することに決定し、何れも近く實施することになつてゐる、本法の内容は彼我兩國司法機關の事務簡捷を主眼とし條文の排列並に規定事項等兩國殆んど同一である、本法實施の曉に於て兩國司法機關を通じ日滿一體不可分の關係を一層緊密ならしめ兩國提携の實を擧ぐるを得るので受託事務の取扱に關しては特に迅速適正を期し由來得て流れ易き共助事務停滯の弊を一掃する樣努められ度い(中略)司法機關の改組に關して昨年九月豫ての計畫に基き各位の御協力を得て其の第一次改組を行つたのであるが本年度に於て人事補充の都合上稍々其の範圍を縮小し、以後三ケ年計畫の下に康德七年度を以て全滿の改組を了する豫定である、これが實施に當つては前年同樣一層の御配慮を只今よりお願ひ致して置く次第である、以下事務上三、四の點につき所見を述べて各位の御參考に供し度いと思ふ(中略)

一、綱紀に就て

司法官の使命は司法權の公正なる運用により國家の治安を維持し國民の權益を擁護するに在る、即ち公正は司法官唯一の生命であらねばならぬ建國前における司法官は動もすれば保身の策に汲々とし、司法官本來の使命は之を沒却して顧みず、從つて又民人の信用甚だ薄かりしとの非難を聞いたのであるが、建國以來銳意人事の刷新に努め素質の向上を圖り司法精神の涵養に力を注いだ結果漸く司法の信頼を昂揚しつゝある次第である、然し乍ら現在の狀態を以て決して未だ充分とするものではない司法官にして猶阿片を吸飮する者、素行の修まらざる者等ある由を聞及び當局として實に憂慮に堪へぬ次第である近時國策として麻藥斷禁政策を採るに至りたる今日猶舊來の惡習を捨てざるが如きは法令擁護の使徒たる司法官としては一日も之を寬假すべからざる行爲である、或は出勤時間を甚しく無視し或は晝食時間に長時間を費し、若くは些々たる用件を構へて濫りに賜暇を請ひ、公務を忽にするが如き弊あることも屢々耳にするところで各位は叙上の點に深甚の考慮を拂ひ自肅自戒せらるゝと共に部下職員を薰陶し、綱紀の振肅を圖られたい

一、職員の融和に就て

審判事務の圓滿なる進捗は法院檢察廳の連絡協調に俟つべきことは言を俟たない、兩者の疏通融和を缺くが如きことありては到底審判事務の適正なる遂行は望めないのである、檢察の事務に付ても同樣である(中略)殊に五族の國民を擁する我國の特殊性に鑑みる時は檢察事務の困難なるべきことは豫想するに難くないのであるから檢察の任に當る各位は特に深甚の注意を拂はれ度い、職員の融和に關しては從來屢々叫ばれてゐるが遺憾乍ら此の問題については十分の實を擧げ得たりと斷言し難いのである、民族協和、東洋永遠の平和を企圖する吾人の使命に深く思を致し須らく大乘的見地に立ち自省せらるゝと共に部下職員を戒飭し遺憾なきを期せられたいのである

三、人事行政

人事行政に關しては司法部の最も重視し來つたところである、更に一層人材の登用に力を注ぎ特別任用を行ひ適材を適所に配し人事の刷新を圖り、司法官の養成訓練に努め速かに人事の充實を期する方針である、即ち法院組織法施行法により執行官書記官中よりその成績優秀なるものにつき詮衡を行つた上これを審判官、檢察官に特別任用する考へである、翻譯官についても司法官と同樣法學校において再訓練を施しもつて人材の養成をはかる計畫を樹て本年度より實施の豫定である各位は部下職員を督勵しその向上心を誘發して一層實務に精勵せしむると共に法規の研鑽に努めしめられたい

四、行政考察に就て

昨年七月一日行政機構の改革と共に監察院が廢止せられ行政考察の事務は各部に移管せられ、爲に司法部に於ては之が準備を整へ本年度より實施する豫定となつてゐる尤も行政考察事務は全然新しい試みと言ふ譯ではないが組織的に一般事務につき考察を行ひ從來よりも一層の效果を擧げ樣と言ふのが本件の目的であるが、而して行政考察の精神は徒らに非違を摘發糺彈するを意圖とするものではなく中央地方協力して事務の刷新向上を圖るに在るのである

五、豫算の執行

凡そ歲出豫算は事務運行の經濟的基源となるものであり之れが執行の適否は直ちに事務の消長に影響する次第であるからその執行に當りては充分の考慮を拂はなければならない、本年度に於ては國防資源の開發、其の他緊急を要する國策の遂行上一般行政經費は極度に膨脹を阻止せられた許りでなく一部既定經費の削減すら之を餘儀なくせられ、從つて本部所管の經費に付ても各院廳の支拂豫算に對し若干減額するの已むなき狀態となつたのである、時恰も多年の宿望であつた領事裁判權撤廢の實現を見、我が司法部に於ては著しく事務の膨脹を來し、愈々期するところ多く時局に際會して居るに拘らず、却て配賦豫算の減額を爲すが如きことは甚だ心忍びないところであるが、各位は宜しく現下の情勢を認識し敍上の事情を諒察の上豫算運用の合理化に努め以て事務の遂行に遺憾なきを期せられんことを切望する

中支貿易組合組織

【上海廿五日發國通】中支經濟復興の重要要素たる奧地物資の購入販賣に關しては豫て上海貿易業者間において寄々協議を重ねてゐたが、いよいよ現地有力者たる益幸洋行酒寄、瀛華洋行栗本、永和洋行永野、清原洋行清原の四氏が發起人となり、中支貿易組合を組織廿五日當局に願書を提出し在留邦人および奧地支那人に對して食料品日用雜貨品の購入販賣に組織的行動をなすことゝなつた、奧地との連絡は當初軍特務部宣撫班の手を通じて行はれてゐたが、物資の圓滑なる交易とゝもに物價の調整にも意を用ひ近く虹口邦人街の中心地たる文路のフランス學校跡に一大デパートを建設し明朗中支建設に一役を買はんとの計畫もあり、その認可は邦人に多大の期待をかけられてゐる

北京自衞團結成式 四月七日擧行

【北京廿五日發國通】北京を中心にかねて訓練中の自衞團は約五千名に達したので四月七日午前十時から北京西郊自衞團は結成式を交民巷練兵場に擧行することに決定した、同日は總自衞團長たる余北京市長外〇〇團長その他多數の關係者を迎へ、團服に身を固めた五千の團員が整列、余團長の閱兵分列等華々しく擧行される筈である

閻錫山の部下 土匪と化す

【太原廿五日發國通】山西南部山岳地帶に在る敗殘の閻錫山部下將兵達は「山西を離れるべからず、黃河を渡河するな」と閻錫山が山西に對する未練たつぷりな指令を殘して逃走したまゝその後の指令なきため彼等は生きんがために土匪と化し掠奪暴行を行つてゐる

邦人北支進出で 外務省警官增加

【天津二十五日發國通】邦人の事變後における北支進出はすでに三萬五千名に上り現在居留民人口は山東、察哈爾兩省を除いて天津の二萬名を筆頭に北京一萬數千、石家莊三千、保定一千その他一萬數千で著しき發展振をみせてゐるが外務省當局ではこれ等邦人の激增に對し現在の領事館警察の陣容では到底これ等邦人の生命財産保護の萬全を期し得ないので北京總領事館、石家莊領事館、太原大使館出張所、唐山領事館分館の新設に伴ひ優秀なる外務省警察官四、五十名を北支に派ることゝなつた

討伐を緩和 敵遊擊隊司令泣きこむ

【蕪湖廿五日發國通】中支占領地區の最前線灣沚鎭警備の皇軍に敵の遊擊隊司令から文書を以て討伐の緩和方を歎願して來たと云ふ支那得意の遊擊戰術も皇軍の前には全く齒が立たぬことを明かに立證した朗話がある、この程灣沚鎭警備中の長谷川隊、緒方隊方面の步哨線に白旗を揭げた一支那人がやつて來て警備隊長緒方中佐に宛て書狀を差出した、中佐が開いて見ると、進退谷まつた安徽省中部遊擊隊司令宗漁舟から苦衷を訴へた歎願書だつた、これを一讀した緒方中佐は思はず噴き出した軍使の支那人に「部下と共に武器を棄て投降して來れば命を保障し生活の方法を講じてやるが、さもない時は軍は斷乎討伐して一兵も殘さず殲滅する」旨の信書を持ち歸らした、歎願書は左の如くで圖太い支那軍の面目躍如たるものがある

大中華民國遊擊隊司令宗漁舟より日本軍灣沚鎭守備隊長に呈す

中日兩國は同文同種なれば相提携し相親しみ永遠に和交を修むべきなり(中略)事變發生以來半歲々閱し貴國財力實力の損失は甚大なり、兩雄相傷つき徒らに歐米諸國をして漁夫の利を得せしむるは智者のとらざるところ、速かに和平解決の途を講ずべきなり(中略)惟ふに貴軍は軍紀嚴正、人道を重んずる軍隊なり、故に民家の燒却等はこれをなさず少しく銳鋒を緩和されよ、橋梁の破壞、交通の妨害等われらの行動は、これまつたく中央軍の命に基くものにしてわれらの本意にあらず、よろしく賢察して正規軍以外に對しては寬大處置を切望す

間島省異動

今回の縣官制の發布に伴ふ間島省下各縣滿系薦任官發令者左の通り

延吉縣屬官 兼地籍整理局屬官　盧起燕
任縣事務官、敍薦任六等
給四級俸
派在延吉縣辦事
延吉縣總務科長　劉桂榮
任縣事務官、敍薦任六等
給四級俸
派在延吉縣辦事
派充庶務科長
間島省屬官　白泰雲
任縣事務官、敍薦任七等
給六級俸
派在和龍縣辦事
派充行政科長
汪清縣屬官　金明完
任縣事務官、敍薦任七等
給六級俸
派在汪清縣辦事
派充行政科長
汪清縣總務科長　石多珠
任縣事務官、敍薦任七等
給七級俸
派在琿春縣辦事
派充庶務科長
琿春縣總務科長　于惠霖
任縣事務官、敍薦任八等
給九級俸
派在琿春縣辦事
派充財務科長
延吉縣內務局長　何紹銘
任縣事務官、敍薦任八等
給八級俸
派在安圖縣辦事
派充庶務科長
安圖縣警務局長　薛維綸
任縣警正、敍薦任七等
給六級俸
派在安圖縣辦事
派充警務科長

山本一等書記官 二十九日出發

菱刈、南、植田の三大使に仕へ在滿四年日滿各機關と緊密な連繫を保ち治外法權撤廢を始め多大の功績を殘した大使館一等書記官山本熊一氏は外務本省の要職に榮轉することゝなり來る二十九日午後二時十分新京發赴任することゝなつた

新京取引市況 (廿六日後場)

	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
米高粱	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
●大豆 三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
●高粱 三月限	[illegible]	[illegible]	三車
四月限	[illegible]	[illegible]	二車

手形交換高 (廿六日)
三五六枚　二九九、一九二、七〇

蕪湖で捕はれたソ聯飛行士と語る
支那軍とソ聯の内狀暴露

「上海廿五日發國通」ソ聯から北支に派遣され去る十四日蕪湖を空襲の際捕虜となつたソ聯飛行士ドムニン・ミハエル・アンドレウイッチ（三〇）と記者等の會見が軍の特別の取計ひにより廿五日午前十時より約二時間に亙つて行はれた、まだ頑是ない十歳頃から赤い國の宣傳と政治教育で赤い思想を植付けられて來たドムニン君は捕虜になつた當初は流石トーチカの樣に口を緘して語らなかつたがその赤い理論も取調べに當つた主任將校の指摘する理想と現實の矛盾の前には次第に崩れて行き最近は頗る懷疑的となり彼から進んで陳述する場合も少くないといふ記者の會見には絶好のチャンスだ約束の午前十時指定された場所武官室官舍に行けば早くもドムニン君は主任將校、通譯等とゝもに記者等を待つてゐた、ユダヤ人のやうな鷲鼻が特長だがジユーではない、頭髮にも櫛を入れ頬にも剃刀を綺麗に當てゝゐる、艶つた艶のいゝ血色が格別の優遇ではなからうが決して惡くない軍の待遇を物語つてゐる、記者等の取出す鉛筆や紙を見た瞬間彼は新聞記者だと直觀したらしく右手で額を蔽ひカメラのレンズから逃れやうとする憂鬱にならうれては大變だから「寫眞はうつさん」と安心させ、いよいよ一問一答を開始した

記者　君は獨身か

ド君　イヤ妻子がウラルのペルムにゐる、妻の名はソフイア（ソーニヤ）、年は二十一勿論戀愛から一昨年結婚し二歳になる息子モリスがゐる、愛妻と愛兒の寫眞は外の荷物と一緒に飛行機に乘せてゐたが燒失して仕舞つた、父は工場の事務員だつたが、革命前に死んでしまつた

記者　君は自分の意志で參戰したのか

ド君　ソヴイエト聯邦では自分の意志で出來るものは一つもない、外國への旅行も自分の意志では出來ない、だから今度の自分も勿論軍の命令で來たのだ、その命令は公に出來ない絶對秘密であつたが支那といふ所は判つてゐた

記者　實戰は初めてか

ド君　一九三二年高等工業學校の航空科に入つてから飛行機を習ひレニングラードの衞戍航空隊に入隊、今は航空中尉だが實戰は今度が初めてだつた、支那へ來てからは蘭州、漢口で數回飛行した丈で南昌では天候惡く一回も飛ばなかつた

記者　ソ聯を出發する迄日本軍に對して何んな感想を持つてゐたか

ド君　日支開戰の當初支那新聞の記事がロシアにその儘掲載されたため、支那が有利だとソ聯では思はれてゐた、ソ聯では澤山の日本兵が支那の捕虜になつたとか、日本飛行機が一度に數十機支那飛行機に擊墜されたとかいふ風に報道されただから自分は空軍に關しては絶對日本に負けぬと思つてゐた、然し侮蔑してはいかぬといはれたが、さういはれても日本軍に遭つたことはないし、大したことはないと思つてゐた

日本軍への考へ

記者　日本軍に對する君の考へ方はその後變つたと思ふが如何

ド君　今になつて考へると支那紙やロシア新聞は出鱈目であつたことを知つた、他の同僚も同じ感想を持つてゐるであらうが、兎も角支那に來てゐるソ聯飛行士は皆日本軍を過少にケナしてはいかぬと思つてゐる、戰死した日本兵が最後まで銃を握つて手離さなかつたことを漢口で聞いた時これを奇異に感じた、日本の空軍が支那の奧地まで空襲することは日支事變まではあり得ないこと、思つてゐた

記者　日本空軍の實力に驚いたらう

ド君　飛行機の操縱も射擊も日本軍の方がソ聯人より鮮かだつたのに驚嘆した、或る日本空軍が漢口、南昌を大爆擊し大空中戰が展開された時の支那の新聞には、日本の飛行機が支那の空軍に數十機擊墜されたと發表されたことがある、南昌でもこれが日本のE九六型機だと燒けた日本の飛行機を見せられたことがあつたが何だかこれは日本機でなく見覺えのある支那の飛行機の樣な氣がした、支那飛行士の手柄話は餘り當にならぬ

記者　支那へ來てからの生活狀態は如何

ド君　滿足とは云へないが特に吾々を苦しめたのは支那上官に對する不滿である、支那上官に命令される位なら吾々は何時でも支那を去らうと思ふ、吾々ソ聯の軍……

ド君　自分は旅行者として來たのでなく支那を援助するために派遣されて來たもので自由な時間を持たないから格別な感想はない

記者　漢口の近況はどうだ

ド君　深い研究をする程滯在しなかつたが漢口にゐた頃（二月一日）と頃では隨分變つてゐるは事實だ、安定してゐるとはいへないし支那要人中では漢口から逃げたがつてゐるものも尠くない、漢口にはカフエーやレストランはあるにはあつたが一度も行かなかつた、蘭州や南昌にはカフエーやレストランはな……

記者　宗教觀を聞きたい

ド君　自分は神を信じない、神は嘗て存在しなかつたし現在も存在しない、ソ聯では教會も漸次破壞されて今は極く僅か殘つてゐるに過ぎない、然し或る人々にとつて宗教は必要なものにちがひないと思ふ

このあたりチラリチラリとソ聯邦青年のイデオロギーの片鱗を見せる、長い間叩きこまれた思想教育の徹底振りが窺はれて興味は津々と湧く、然ししばしば肩のこらぬ話をつゞける

記者　支那の御茶、料理は好きか

ド君　御茶は好きだが支那茶……

支那敗戰の原因

ソ聯政治の内幕

讀者の領分

特別市公署へ

注意を要す

晴れた日・日中に棚引く 美しい春霞は

＝どうして起るのでせう＝

春霞といふのは、つまり極く細かな塵や埃が地上餘り高くないところに層になつて浮んでゐるのを、遠くから晴れた日の光りのもとで見ると、紫がかつた薄絹でもかけたやうに見えるのをいふのです。

…なぜ… それが春に多いかといふと春は日本あたりでは一定方向に吹く季節風といふのがなく寒い冬中吹き募つた北西の風と、暑い夏に多い東南風のいれかはる時で、どつちつかずのそよ風が吹いたり吹かなかつたりして、大氣のトロリとした平穩な日が多いのです。そのため細かな塵やほこりが、風に吹き飛ばされずに地上近くに棚引いて浮いてゐるのです。だから春でなくても穩かな**小春**日和などに塵やほこりの多い大都會を遠望すると立派な霞が棚引いてゐることがあります。もし朝か晩になつて急に冷えて來ると霞のもとの塵はこりを中心に水蒸氣が水玉になつてしまひ今度は光を全部反射して白く見えて來ます。かうなるともう霞とはいはず、朝靄夕靄と名を改めなくてはなりません。

戰鬪機を凌ぐ 時速三百五十哩の自動車建造

世界自動車選手權大會に

世界自動車競走選手權大會は來る四月米國ユタ州のソルト・ベッヅの競走路で擧行されることゝなつたので英國でも目下大童になつて競走用新車の建造を急いでゐます。

時速 三百十三哩の自動車の速度世界記錄を保持するアイストン大尉も三百五十哩の新記錄の樹立を目指して目下新車「雷鳴」號を整備中であるが、この車はロールス・ロイスの六千馬力の機關を裝置した八輪車でその重量實に七噸半といふ世界一の怪物重量車だ、一方コブ選手もこれに對抗し四輪二千七百馬力重量二噸の怪スピードを出さうと意氣込んでゐるが一般玄人筋ではこんな輕量車ではきつと疾走中に車體が浮き上つてしまつて過般慘死した獨逸の名選手ローゼマイヤー君と同樣な運命を辿るに違ひないと**不吉**な豫言をしてゐる。又ドイツでもローゼマイヤー選手に代る名選手が出來れば新車を送つて科學ドイツの手腕を示さうと意氣込んでゐるが、何れにしても時速三百五十哩と言へば一流戰鬪機のスピードを遙かに凌駕する物凄いものだ。

船や軍隊の行進は右側通行です

〃皆さんご存じですか！

日本では自動車も、電車も、歩く人も左側通行を勵行して交通事故を防いでゐますが外國ではアベコベに右側通行を嚴守してゐます、何故、外國と反對かといふに、これはわが國の昔からの習慣によるものです。

（昔は） 武士は刀を左に差してゐました。それで右側を通ると行き違ふ時にはずみで刀の鞘が觸れ合ひます、それを鞘當といつて大變失禮なことになつてゐました。場合によると、その爲めに刀を拔いて斬合つた事さへあります。それでお互に鞘の觸れないやうに自然左側を通つたものです。それで明治になつて交通取締規則をつくる時、この習慣に從つて左側通行にしたのです。でも軍隊が隊伍を組んで行進する時に限つて反對に右側を通行するのです。これは軍を指揮する上からさうしないと困るからで

（指揮） 者はすべて隊の左に位置してゐます。ですから、狹い道などで軍隊の行進に行き違つたら向つて右方へ避けた方がよいのです、陸では左側通行ですが、水上の交通は世界中の船がみんな右側通行をすることになつてゐます。だから、我が國でも港を出入する汽船はみんな右側を通つてゐます、さうしないと衝突の危險があります。しかし、狹い川を航行する小船などはまだ規則を守らないものが多いやうです

兒童作文集

兵隊さんのしんせつ

白菊校尋三　井出好明

僕が學校からかへりみちのことだ。うしろのをばさんが、きつさうに、赤ちやんをおぶつてかた手に大きな荷物をさげて歩いてゐました。僕はきのどくでく〳〵たまりませんでした。持つてあげようと、思つて手を出したが、少しはづかしかつたので、又ひつこめた。すると兵隊さんがきて「私が持つてあげませう」と、言つて荷物に手をかけた。「どうもありがたうございます」と、をばさんはていねいに頭をさげました。僕は兵隊さんの方をちよつと見た。兵隊さんはにこ〳〵しながらをばさんと話してゐました。僕は、「あゝよかつた」と思ひました。「あの兵隊さんは、しんせつだなあ」と心のうちで思つた。かどまでくると、をばさんは「いろ〳〵ありがたうございました」とまた頭をさげた。兵隊さんは、「いいえ、このくらゐのこと、なんでもないんです。」と言つてかへつて行つた。僕は、ぢつと、兵隊さんの姿を見送つた。えりのところが空色なので、ひかうたいの上等兵だとわかつた。

夜

白菊校高一　吉田勇

「ゴトリ」思はず、はつとふりむいて見ると何事もない。たぶん鼠の仕業だらう。癪にさはつたが一方では安心した。しん〳〵と靜かに靜まりかつた夜は何事にも神經過敏である。時々犬の遠吠が何者かにおびへた樣に聞へる。僕は机にもたれて帳面に鉛筆を走らせながらも、この地球の反對側では今が晝で人々が一生懸命働いてゐるのだと思ふとそれが何だか不思議で信じられないやうな氣がした。突如「ピー」とするどい音が何物もねむつてゐる靜かな闇を破つて聞えた。多分汽車の汽笛だらう。と其音が止むと前にもまして靜かとなり、何の音も聞へなくなつた。僕は急にねむくなつたので頭を冷すために外に出た。急に寒さが身にしみた。夜とはいへ晝の大都會に比して何と言ふ靜かさであらう。附近の家々は皆大戸を下しうす明るいともしびを街路に流してゐる。空を見上げると何となく淋しさをいだかしめる月が中天に高く昇りその間を涼しさうな星がちらついてゐる。僕は明日も愉快に過せます樣にと月に念じながら家に入つた。机の前で書き續けてゐたがついうと〳〵して、それも大きないびきに、はつと目をさまされて仕舞つた。ひよいと見ると兄さんだ、と悲しさうな犬の遠吠が聞へた。するとそれに相和する樣に四方から犬が吠え出した。僕は何だらうと耳をすましたが吠聲はやんでもとの靜けさに歸つた。たゞ聞えるのは大小のいびき聲だ。「靜かだ」實に靜かだ。孤獨の淋しさが身に泌む樣だ。急にねむくなつたので急いで書いて寢についたのは十二時近くであつた。

私のお人形さん

室町校尋三　高久田安希子

かはいゝお目をぱつちり開けて
かはいゝぼうしにきれいなお服
あみ上げ靴下小さいお靴
本だな上のお人形さん
黒いまゆげにまつかなお口
りんごのやうた赤いほほ
服の下には短いしみず
私のかはいゝお人形さん
かはいゝお帽子おつむにのせて
黒いかみの毛首までたれて
まる〳〵太つたかはいゝお手々
ほんとにかはいゝお人形さん

オモリ

室町校一ネン　上原幸子

ワタシガベンキヤウシテヰルト、アカチヤンガ、アンアンナキダシマシタ。オカアサンハヨソヘイツテヰマセン。ワタシハベンキヤウシテヰルノデダケマセン。ダケドカハイサウダカラ、ベンキヤウヲヤメテ、ダイテウタヲウタツテヤリマシタ。ソシタラアカチヤンハ、ネンネヲシマシタカラ、シンダイノウヘニネカシテヤリマシタ。スコシタツテオカアサンガカヘツテキマシタ。オカアサンニソノハナシヲシマシタラ「オリコウダツタネ」ト、イツテ一センクダサイマシタ。ワタクシハウレシクテタマリマセンデシタ。ユフガタオトウサンガカヘツテキマシタノデ、オトサンニモソノハナシヲシマシタラオトウサンモ「ソレハオリコウダツタネ」ト、イツテマタ一センクダサイマシタ。コレデ二センニナリマシタ。ソシタラオバサンモ「ソレデハワタシモ一センアゲマセウ」ト、イツテマタ一センイタダキマシタ。ミンナデ三センニナリマシタ。ワタクシハモウトツテモウレシクテタマリマセンデシタ。三センハダイジニシテチヨキンシマス。

(1) タビヂニヒガクレテハナンギダトオモツタガ、チカクニヤドヤモミエナイノデトホクノアカリヲメアテニ、エツサ〳〵トカケダシタ、モウマツタクヒハクレテ、ソラニハオホシサマガ、ピカーリ、ピカーリ「ハツクシヨイ！オツトケンノンカゼヲヒイタカナ」サスガノボンキチモコヽロボソクナツタ。

(2) クラガリミチヲ、ニギリメシヲ、ホオバリ〳〵ヤツテクルト、トツゼン「キヤツ！」トイフヒトノヒメイ、ボンキチオモハズカタテノニギリメシヲトリオトシサウニナツテ「オツトケンノン、ナンダカベラボウニキビガワルクナツテキタゾ」トアタリヲミマハシタガマツクロクロ。

キヤッ

ツヾク

軍馬の使ひ頃は十歳前後です

軍隊には平生、三萬六千頭の軍馬がゐます。五才から六才で入營して、一ケ年半、軍馬として〃訓練を受け、あと八年半ばかりですが在營は先づ十年です強いのは十七、八歳まで勤めますが、使ひ頃は八九才から十二、三才までゞす。一頭四五圓で買ひ入れ訓練して一人前とすると一千圓位はかゝりますので新しいのも三千六百頭位入營する事になります

新學期　進級したの方　心得帖

（1）學用品を忘れぬ事
（2）小さい人の面倒をみてあげませう
（3）休み時間を愉快に遊ぶ事
（4）判らぬ事は先生に聞き分つたやうな顔をせぬ事
（5）學科の好き嫌ひがないやうにしませう
（6）自分の事は自分でしませう

ラヂオ　けふの番組

【M・T・C・Y 新京放送局】廿七日（日曜日）

朝

七、三〇ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
八、一〇ニユース
氣象通報
八、二〇朝の音樂（大連）
九、三〇子供の時間（大阪）童話劇 仲よしになるまで 大阪童劇協會
一〇、〇〇日曜勤行（福岡）＝淨土宗鎭西本山善導寺より中繼＝ 導師善導寺貫主僧正 川端信之
一〇、四〇講演（大阪）南畫に見る支那大陸風景
一一、一〇經濟市況（東京）
一一、二〇講演（山形）居合術の祖林崎重信とその母 大平精一
一一、五九時報（東京）
〇、三〇ニユース（東京・新京）

晝

一、〇〇ヴアイオリン獨奏（哈爾濱）（全日滿放送）ヴアイオリンのための協奏曲ニ長調（第一部）チヤイコフスキー作品卅五 獨奏 ボンチ・オスモロフスキー
ピアノ伴奏 ヴアリア・アバザ
一、二〇傷病將士慰問の午後（大阪）＝大阪陸軍病院赤十字病院より中繼＝
一、齊唱（イ）兵隊さん・外 BKコドモ唱歌隊
二、落語 出世問答 柱三木助
三、俚謠（イ）水戸節（ロ）山中節（ハ）大津繪節
四、漫才 唄 春の日は永い 三味線 松力 妻吉 吉野喜蝶 松葉家奴
五、歌謠曲
四、〇〇ニユース（東京）氣象通報・ニユース（新京）

夜

六、〇〇子供の時間（東京）音樂物語 オーケストラの少女 松井翠聲
六、三〇音樂鑑賞（レコード）
七、〇〇ニユース（東京）ニユース・告知事項（新京）
七、三〇講演 青年の夕 青年學校の新使命 關東局司政部長兼大使館教務部長 三浦直彦
七、五〇アコーデイオン合奏（奉天）BYアコーデイオンバンド 一、輕騎兵 ズツペ作曲 二、ミリタリマーチ シユーベルト作曲
八、一〇詩吟（大連）大連興國詩吟會青年部 一、感天恩 江頭法絃作 大村嘉弘 二、寄家兒言志 廣瀨武夫作 堺清 三、我有青年 成田松坡作 四、獄中有感 西鄕隆盛作
男聲合唱（大連）JQAKメンネルコール 指揮 村岡樂童 一、青年の歌 二、友情 三、封鎖征戰の歌 四、海ゆかば 五、愛國行進曲
八、三〇チエロ獨奏（大連）シミオン・ムツトマン ピアノ伴奏 N・ボロダスキナ 一、ソナタ エツクルス作曲 二、メロデイ グルツク作曲 三、セレナーデ エスパニヨーレ グラズノフ作曲
八、五〇連續ラヂオ小說（東京）思ひ出の記（第二夜）德冨蘆花原作 佐田義賢脚色 古關裕而作曲 配役（發聲順）愼太郎 河合榮太郎 松村 小堀彰夫 敏子 近松ふじ子 鈴江 森赫子 伯父 大矢市次郎 母 村田みお子 駒井先生 柳永二郎 伯母 草間錦絲 新吾 藤村秀夫 解說 和田信賢 演出 溝口健二 音樂指揮 古關裕而 音樂 東京放送管絃樂團
九、二九時報 ニユース・ニユース解說（東京）
氣象通報・ニユース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニユース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）アナウンサー 上森宮岡

海外ニュース

▼…ウインザー王城の將來

數世紀の歷史を存する由緖深き英國王室の居城の一つ、ウインザー城もその諸設備があまり古過ぎ他の王城の如く現代向きの諸設備が缺如してゐるため、此の程ジョージ國王及びエリザベス皇后のお名殘りを惜しむ中に防空室が設けられ、次第に王城として使用されなくなつた、防空室としては、現にある天井地下室があてられるが、一朝事ある際そこに古代の藝術品及び王室記錄のみならず國寶、政府公文書記錄及び一般美術品が收藏されるといふ、既に工事は施行され今年中に完成する豫定でその設計に依ると空襲には絕對安全だといふ、世界大戰當時王城は絕對に空襲しないとの紳士協定があつたことは知る人は少ないが事實カイゼルが之を守つたことを想起すれば感慨深いものがある

▼…人間は禿頭を免れず

兎も角禿頭は罪なもの人生の悲劇、喜劇の好材料ともなり中年紳士の一大脅威だが最近禿頭に就いてベルリンのペンゼルと言ふ博士が次のやうな興味ある學說を發表した、博士の說によると

人間の頭蓋骨は漸次生長と共に發育するもので大體四十才から五十才迄の間にその最大量に達するその證據には我が日常頭を飾る帽子が寄る年波と共に小くなりつゞて來る、昔のものは頭に合はなくなつて來る、ところが頭の皮膚面は之と反對に絕對に擴張するものではない、丁度多くの禿頭紳士に見る樣に頭蓋骨を覆つてゐる皮膚面は極度に伸展し薄くなる、その結果頭部を流れる血管は壓縮され血液の循環は鈍くなり毛根は死んで終ふ、かくして毛髮は脫落し光輝燦然たる藥罐頭となる、しかし概して首の上と兩側面には未だ毛髮が殘つてゐるものだが、その局部では筋肉や脂肪の層が整つてゐるから皮膚は差程影響を受けない爲である、頭部の皮膚面に比して過度の頭蓋骨の發育は子供に於てさへ毛髮の總脫落症狀を呈す場合もあるといふのである、どうもこの說に依れば我々人間は禿頭を免かれぬやうだ

▼…ファシスト民團軍の十誡

イタリー各紙は先日ファシスト民團軍のために十誡を發表しファシスト政權の强化に一層の拍車をかけることになつた、その內容は
一、ファシスト革命のためにたほれた同志を忘れるな
二、戰友は常に兄弟と思へ
三、何時、如何なる場所に於てもイタリアに對する奉仕を忘れるな
四、ファシズムの敵は即ち汝の敵である
五、軍規は軍隊の太陽である
六、進んで攻擊する者常に勝利を收める
七、完全な意識的服從は軍の美德である
八、軍務に必要、不必要の區別なし、すべて義務と心得よ
九、ファシスト革命は民團軍の銃劍に護らる
十、ムソリーニは常に正しい

學藝

村少女（五）

ーシナリオ風な物語

山下明

三六、いよいよ小蘭の新京見物に出發する朝。村長の家の庭

小蘭は他所ゆきの美しい着物を着て、吉田と一緒に馬車に乘る。とてもうれしさう。

村長、母親等見送り。

小蘭「お父さん、お母さんでは行つて參ります」

村長「うん」

母親「よく氣をつけて風邪をひかないやうにね。吉田さん、宜敷くお願ひ致しますよ」

馬車走り出す。

三七、列車の中の二人。

窓外に上下する電線　うつりゆく風景などに見入つたり燥いだりしてゐる小蘭。

三八、新京驛

出札口を出る二人

三九、キヨロキヨロする小蘭を促して豆タクに乘る吉田。

四〇、車り出し小蘭のあわてたやうに外を見てゐる顏

四一、街の建物、教會の尖塔歩いてゐる人々のカツトバツクやフラツシユ・バツクやクローズ・アツプ……

四二、豆タク長田氏の家の前で停つて二人降りる。

四三、部屋の中、長田氏の奥さん、三、四才の子供。

卓の上に紅茶と果物。

小蘭は坐ぶとんの上に横なりに坐つてかしこまつてゐる。近づいて來た小さな小供の頭をなでて可愛がつたりしてゐる。

奥さんは優しげに小蘭を見て、レコードをかける。

吉田「それでは二、三日、泊めて下さい。では一寸街へ見物に行つて來ます」

奥さん「行つていらつしやい」

四四、前のレコードの輕快なメロデイがその儘續いて馬車に乘つて走つてゆく二人

四五、國務院廳舍

そびゆる甍、太い圓柱。

四六、タイピスト・プール。

吉田、小蘭ドアを明けて入つてゆく、働いてゐる滿服日本服、洋服とりどりの娘達。

打字機、キイ、激しく動く指先、活字、紙片等のモンタージュ的技巧のフラッシュ・バック

リズミカルなキイの音。

感心して見とれてゐる小蘭の横顔。

四七、退け時

役所、或は會社から出てくる男女の群・滿人の娘と日本人の娘、喜戲として腕を組んで歸つてゆく。

見てゐる小蘭の横顔。

四九　街に灯がつく。

街燈、ネオン・ライト、走つてゆく自動車やバスや馬車。

五〇、明るく賑やかなショーウインドウ。

五一、タイピスト養成所。

日本娘、滿洲娘夫々一所懸命練習してゐる。

窓の外から吸ひつかれるやうに見てゐる小蘭を吉田せきたてゝ歩いてゆく。

×××××××××××××

證婚人となる

道祖土剛

明後日結婚式を擧げるから證婚人になつて呉れと云ふ。如何な役割か知らないが引受けた。

逐振亜は長春縣青年訓練所の助手で當年二十八才の好漢新京在、遂家灣なる地主の息子だが今は金持ちぢアない實に覇氣に富む直情な奴で、和田さん（現中央監査部長）の靖安軍に身を投じ、名譽の負傷をして今も心持ち片足が不自由である。

約束の日曜日。頗る春らしい陽ざしだく諦子、太郎の二子をつれて式場なる四道街慶海春に行く。名前はすばらしいがうす汚ない田舍料理屋だ時に午前九時半。顏見知りの青訓卒業生が七、八名。舊知の百姓。顏役が席にあふれて何れも喜悦滿面。皆久しぶりの挨拶にやつて來る。懐かしい限りだ。

新郎は中折帽をかぶつて、いさゝか紅潮して居るが、馬車代の支拂ひ、料理の交渉、式場の世話等萬事新郎の采配だからとても忙がしい。

介紹人は村の古老で七十才位だが頗る愛嬌のある人で、とてつもない時代ものゝ眼鏡を太い紐で禿げ頭にくるりつけて居る。百二十人許りの老若男女が右往左往して種子撒きのこと、税金の話など屈託のない有樣は、北歐あたりの風景そつくりだ。とりすましたのは一人も居ない。全く大陸農村に生活する自然の姿だ受付の四五名は來客の差出す祝金の帖付けにほくそ笑んで居るし—やがて賑やかな滿洲音樂だ。この一隊は新京でも有名な樂士連中で放送局で度々やつて丈けあつて仲々景氣が好い。

上段に設けられた式場を見ると、證婚人が眞中で、兩側に介紹人男女、新郎新婦の迎賊席と別れて居る。

式の次第書きも相當やかましく書いてあるが、こつちは一切知らん顏で皆と雜談にふけつたり、逆をからかつたり

やがて先きぶれがあつて、新婦側が到着する。

開會が司會者に依つて宣せられ、自分は度胸をきめて證婚人席へつく。ちよつと裁判所の形だ。

太郎は面白い芝居でも始まると思つて、はしやぎ廻つて居る。やがて一同の拍手に迎へられ、逐は急造の布ジュウタンの上をベールの花嫁とゆるゆるとやつて來て私達の前に立つた。結婚證書が私の卓子にのつて居る。

これは連續二枚で、吾等道祖土剛先生の證明の下に此處に結婚式を擧げ云々と書いてあるし、立派な見なれぬ切手も帖つてある。模樣入りの卒業證書だ。司會者に依つてこれが嚴そかに讀みあげられ、先づ自分が捺印する。次いで介紹人男女、新郎新婦が捺印した。

それから私に訓辭をせいと云ふ。これは高砂やアと同じもんだと思つたから簡單明朗にやつたら、早速李君が然るべく通譯してくれた。滿堂拍手。

それから眼鏡の老人、足の小さい老母、友人の祝辭が讀みあげられた。特に十六才位の新婦の友人とおぼしき乙女が朗々と祝辭をよみあげたのには感心した。

次に新夫婦の挨拶。記念撮影、此の間笑聲が絶えない。花嫁は十八と云ふが、さすがの私もまつすぐ見ることが出來ない。てれくさいから。新郎の飛び上つたカラーや、ともすればチョッキの下からはみ出してくるネックタイを直してやつて、終始皆と共に哄笑して居るより仕方がなかつた。

やがて正午の宴會だが、後は部員連中に委せて表に出た何とも云へない愉快さで自然に微笑が湧き上つて來るのを如何することも出來ない。新京にも急に春が訪れた。

は翌日一日休んだきりで相變らず元氣に本部で働いて居る。きけば結婚費用全部で三百四圓、中花嫁の仕度金に百八十圓、祝金が百二十六圓あつたとのことだ。（五、三、一八日於協和會長春地區本部）

學藝消息

▲境野重明氏　西安炭礦に轉勤、二十四日赴任した

▲『旅行滿洲』改題ジャパン・ツーリスト・ビユーロー滿洲支部刊行の同誌は四月號から『觀光東亞』と改題、新しい情勢を迎へた東亞の觀光事業に飛躍することとなつた

赤ペン放送室

木乃伊になる

末盛能道君去る日去る男をつかまへ某カフエーでメートルを上げたもの▲それはよかつたがやがて自分一人が置き去りにされてゐることを發見「畜生ひでえ事をしあがる、これぢや木乃伊とりが木乃伊になつたみたいだ」と憤慨▲「行先きは判つとる」と勘定拂つてあと追かけたといふがさて結末はどうなつたか……彼にしてこの拔かりあり、春ですて！

早春

菫川千童

早春なる
白い花とよぶ香包か
冴えざえとひかる朝を意識した。

そのとき……
風のなかをひしめく
吹き晒しの夕暮の街に出た頃
大都會の露店が冷たげに揺れ
僕の
さりげないこころに
眩しい瞳の……
うなじの美しいひとの翳を落した。

成長を示す

ー圓地文子「風の如き言葉」（『文學界』四月號）ー

これは一風變つた形式を持つた小説である。一人の女が二人の男の手紙によつて描き出されてゐる。「あの女の持つてゐた性質ー奔流する情熱とものさ凍らせる理智、純粹な情感に憧れながら、打算を忘れない巧利性、内容よりも外形に心惹かれる小さい英雄主義ー少女のやうに單純で、娼婦のやうに手管のある」そんな女なのである。

一人は女の異母兄。一人は女が暫らくを同棲した男。女は男と別れて北支へ去るのである。

描き出さうとする巨きな主題はありながら、まだ描寫が足らぬといふ氣がする。それにしてもこれは圓地文子の成長を示す作品ではあらう。もはや稚さは此處にない漸く成熟しやうとするものがこゝにはある（御垣衛士）

雜誌

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲財界春秋（三月號）大志摩殖四郎「東亞大陸政策と北支開發問題」その他（東京市麹町區九段三丁目一九、財界春秋社、五十錢）

滿洲映畫國策論

外山卯三郎

映畫技術と言ふものを一國の國策を運用する機關として活用してゐることは既に歐米各國に見られる現象であつて決してこと新しいことではない。映畫技術の進歩につれて無聲映畫は有聲のトーキイ映畫となり單色映畫がいまや天然色映畫にまで生長しやうという勢を示してゐる。しかも發光裝置の改善が進むにつれて映畫はいまや夥しい大衆を對象として映寫する技巧をもちまたそのメカニズムは夥しい回數を繰り返すことによつて演劇がかつて豫想もしなかつた効果を群象にはたらきかけろ力を持つてゐる。しかもそれは映寫幕に映じる時間的な形象をたゞ視覺の動きによつて理解することの出來るおどろくべき大衆性を持つてゐる。かうした偉力を國策の線に沿つて國策を理解させ國狀を宣傳する國家的な道具として使用するといふことは極めて重要なことであり何れの文化國に於てもまた決して見逃すことの出來ないものであるわが新興滿洲國もまた各般の施設が完成され有史以來まれに見る急速な國家形成に成功をおさめてゐる今日この映畫技術を用ひて國策を遂行させる有力な機關とすることは決して尙早のものではあるまいと考へるものである。然し滿洲國は決して日本のやうに單一民族によつて組織されてゐる國家でないだけにかうした映畫技術を用ひて國策を遂行する上にもまた極めて愼重な用意が必要であり複雜な企畫を持たなければならないことは言ふまでもないことである。しかも言語を異にする民族が多ければ多いほど言語によらない眼で物の形を示す手段を用ひる映畫形式が他の如何なる方法によるよりも最も容易に人を理解させることが出來るだけではなく一時に夥しい數の民衆をひきつけることが出來るだらう。

如何に巧みな言葉をはなしたとしてもそこにはやはり理解出來ない人間の感情が殘るものである。又文學を通しても決して徹底するものでない然し人間が人間の生活上の現象をそのまゝの姿で、映畫が把握してこれを示すならばそれはいづれの民族でも人間である限りそれを理解し樂しむ力をもつてゐる、こゝに映畫と言ふものゝ偉力があるのであつて國家がこの文明の利器を縱橫に利用することによつて一國の文化的な水準をたかめることも出來るしまた民族的な融和をはかることも出來宣撫工作も民衆教化もまた對外宣傳もあらゆる國策が極めて簡明にしかも效果的に遂行されるものと言はねばならない。この意味に於て私達は映畫國策といふものゝ重要性を認めるものであり、その滿洲國に於ける活動の理想をこゝに素描して見やうとするのである【寫眞は外山卯三郎氏】

協和會我等と共に健かに笑へ騷げ
首都本部のクダケタ意圖
新國都祭等の計畫

明るい國都輝く滿洲

從來協和會では比較的四角張つた行事ばかり行つて來たがそれでは民衆に興へる効果も尠く形式的に流れ易いので一つうんとくだけてかた苦しいことは一切抜きにした底抜け騷ぎをやらうぢやないかといふ計畫がある、昔から滿洲國人は冠婚葬祭にがこの習慣を利用し協和會でも從來の意識的な行事より一歩つつ込んで民衆の衝動として湧き出るこの氣持をキャッチし從來の如き枠をつけた行事より大衆向の誰でも文句なしに參加出來民族を忘れて騷ぎ出すといつた大連の「みなと祭」式なものを計畫、目下首都本部に於て計畫を進めてゐる、これは大部以前から問題となつてゐたものではあるが最近に至り一段と民衆の間にかういつたものに對する興望が起つて來たもので實現されれば多分新國都祭といつた名稱がつけられる筈で、今迄の協和會宣傳行事の行き方に百八十度の轉換を齎らすものとして注目されてゐる

兩内親王殿下 大宮御所へ

【東京國通】照宮、順宮兩内親王殿下には廿六日午後一時半御久方振りに大宮御所に成らせられ、大奥にて皇太后陛下に御對面、春の一日を御團欒の中に過させられ午後四時大宮御所御出門御歸還遊ばされた

事變ニュース大會 今更に感激溢る
廿七、八兩日續開

愛國連盟首都聯盟主催事變ニュース映畫大會は二十六日午後二時より協和會館に於て開催され、非常な盛會を極め、纏められた二十數卷のニュース映畫に今更の如く皇軍奮鬪の姿に感激觀衆一同一段と非常時意識を高揚、多大の成果を收めて午後四時過ぎ終了した、夜は引續き午後六時より同樣協和會館に於て開かれ多數の來觀者があつた、尚同映畫大會は廿七、廿八日も續行されることとなつてゐる

留日司法官一行

滿洲國留日司法官一行は二十六日午後四時四十分發列車で官民多數見送の中に勇躍出發した

四月初旬を期し 滿映職制大改革
鬱積せる諸感情一掃

配給の統制、製作の獨占化と言ふ劃期的變革を齎らした滿洲映畫協會は昨年八月創立以來職制の不備、人材の不適任等で兎角内部間の軋轢抗爭が絶えず所謂協會創立功勞組である現地派と曲りなりにも配給システム確立に功績のあつた内地派とは事毎に睨み合の狀態を續けてゐたところ、最近配給關係に於て忌はしき事件勃發すると同時に司直の手が伸びんとする形勢に協會幹部は周章し配給主任者の某氏に詰腹を切らしめた事實ありこれを契機に内地派は總退却の餘儀なきに立ち至るものとみられてゐる、然し乍ら内部の鬱積は下級社員間の給與の不公平、地位の不適任等においてより甚だしく協會業務執行上多大の支障を來しつゝあつたが、この原因は創立當初人事行政擔當者が情實に捉はれ感情に左右せられて不定見無責任なる事務を遂行したにあり、此點大いに遺憾とされ給與待遇の是正改革は一刻を爭ふ急務として協會幹部間に於ても寄々協議中のところ此の程漸く職制の決定を見、四月初旬を期して根本的な人事異動並びに給與の是正改革が斷行されることになつた、これによつて創立以來の内部間の暗闘、給與の不公平等鬱積せる諸感情が拂拭され文字通り明朗なる文化機關として本來の使命目的に邁進されんことが望まれてゐる

協和會 長春地區本部
改稱 長嶺縣を編入

滿洲帝國協和會長春縣本部は長春地區本部と改名し長嶺縣を同地區管轄區域内に編入長嶺縣には辦事處を設置し部員を駐在せしむることとなつた

新京の發展を物語るものとして順天分會より白山、黄龍兩分會を分割、又滿系分會として四道街、南關兩分會が新設されることに確定してゐる

女中、女給さん方に 國都の認識を！
觀光協會で見學團募集

新京觀光協會では觀光サービス第一線に立つ女性に躍進國都を認識せしめる爲旅館女中カフエ女給さん等の市内名所觀光會を催すこととなつたが日程料金等は左の如くである希望者は振つて申込まれ度いと

▲日時　三月二十七日二十八日の二日間旅館女中さん、二十九日三十日はカフエの女給さん

▲集合場所　新京驛前ビューロー二階

▲見學個所　×印は下車説明箇所

遊覽バスコース全般　新京驛前出發—中央通—×新京神社—西公園前—關東軍司令部前—×忠靈塔—西廣場—×寬城子—（折返し）—新京驛前—日本橋通—舊國務院前—宮内府—大馬路—南關—×南嶺—南湖—國務院—皇宮豫定地—興亞街—紅卍字會前—大同廣場—大同大街—新發路—新京驛前解散

見學約三時間、終つて三中井或は寶山百貨店食堂で茶話會を開き午後五時、解散の豫定

▲料金　一名につき普通料金（一圓五十錢）の半額七十五錢但し見學終了後の茶話會費を含む

當日持參のこと

▲定員　五十名

▲申込所　新京カフエ組合事務所　電話三—五九二〇番

▲備考　1、希望者多數の場合は申込順により決定致します

2、名所見學會の御問合せは新京特別市公署内新京觀光協會（電話二—二九七一番）又は新京カフエ組合事務所（電話三—五九二〇番）

苦節に輝く螢の光
青年學校第三回卒業式

新京青年學校第三回本科卒業並に研究科修了式は廿六日午後七時より新京商業學校講堂で擧行された、新京特別市學校組合より關屋組合長の臨席を得て多數來賓列席の下に定刻國歌奉唱に依り開式、勅語捧讀後晴れの卒業及び修了證書は羽田校長より卒業生總代小川榮次郎君、修了生總代山口德夫君にそれぞれ授與され次いで左記優秀者に賞狀授與があつて後羽田校長式辭、關屋組合長告辭を終つて在校生總代伊藤岩男君先輩諸氏を送るの辭を述べて卒業生總代松谷眞一君これに答へ午後九時半「螢の光」の合唱に依つて閉式した、卒業生總員は百二名、修了生總員は七十七名で榮ある受賞者は次の如くである

▲新京特別市學校組合長賞（研二）山口德夫

▲學校長賞（研二）松谷眞一（本四）小川榮次郎

▲新京教育獎勵會賞（研二）水谷常市、室元宇吉、黒木清則、村上孝雄（本四）松本一男、竹迫進、田崎隆

▲功勞賞（研二）栗山正男、和田靜吉村秀男、疋島健三

▲特技賞（研二）有山成海

▲教練優秀賞（研二）松谷眞一、室元宇吉、水谷常市、宮崎景春、疋島健三（研一）伊藤岩男遠藤年雄、西村秀雄、梶山孝司、稲田源藏（本四）竹迫進、須賀呈元、宮崎留七猪股信男、西尾宗一、小野正一、吉本忠行（本三）玉松尾義則（本二）、冶城忠砷崎幸滿【寫眞は卒業式】

總會員數一萬を擁し
滿洲國婦新京支部結成
本部と同日（三日）發會式擧行

滿洲國防婦人會は全滿に堂々十一萬の會員を擁して來る四月三日華々しく發會することになつたが、國都新京支部でも同日の發會式の際同時に結成式を擧げるが其の陣容も左の如く内定、全市に一萬近くの會員を得て非常時局下銃後の護りも固く進むこととなつた

▲支部長星野操▲副部長關屋捷子、直木隆子、金王笑彦▲常務理事赤木常磐、岩坂安子、石崎春江、青木キクミ、滿系二名未定

分會長は次の如し、括弧内は分會員數

▲鐵道北（九八）小松フクエ▲三笠（三一〇）松田フデエ▲吉野（四九五）石黒マキエ▲室町（二九〇）大村愛子▲八島（二五五）四戸糸子▲康德（二六〇）田中コマツ▲長通路（二四〇）馬王佐臣▲大經路（一一四）揚景蘭▲大同（三三〇）柴崎靜子▲南嶺（一三五）西土和伊子▲順天（四二九）大橋愛知子▲萬壽（四五〇）及川幾代▲櫻木（四一〇）薄田芳技▲新發屯（二一九五）藤山安子▲白菊（四三〇）田中倭文子▲西廣場（三三〇）植田澄子▲寬城子（三八三）神笠一枝▲電々（五五五）柴田榮子▲電業（四六四）山崎須磨子▲滿鐵（九二〇）古山俊子▲滿炭（二一〇〇）李鐘英▲櫻（關東局及び大使館教務部關係者四一〇）三浦滋子▲女學校（敷島高女四、五年生三〇〇）大浦留市▲青年學校（一六〇）羽田文次郎▲寶山（二一五）前田絹枝▲ニッケ（三三）小林宮子▲大和（舞踊場組合員一四五）未定▲朝日（舊附屬地カフエー組合員五三四）前畑シン▲雞林（舊朝鮮人分會一五三）朱金輪

尚結成後間も無く五月中旬南

市内か城内か
飮食物値上げ問題二組合對立
當局の裁斷如何

舊附屬地飲食店業者によつて組織する新京飲食店組合では去月下旬臨時役員會を開催し諸物價騰貴に伴ふ對策として營業品の一齊値上げを決議した、即ち

▲酒類　内地酒三十五錢を四十五錢、高五十錢に、滿洲酒二十五錢を四十錢に

▲すし類　のり卷四十錢を五十錢高四十五錢、ちらし一人前五十錢を十錢高六十錢、盛り合せ十箇五十錢を二箇減じて八箇五十錢

▲そば類　かけ二錢高十二錢、もり五錢高二十錢、ざる五錢高二十五錢、種物五錢高

等と全面的に二割乃至三割五分高となつてゐるが、この値上げ定價については過般中央通署に認可申請中で目下同署保安係に於て四圍の情況を考慮慎重査定中とあり認可の如何は今後に持ち越されてゐるが、一部の値上げは止むなきものと見られてゐる、然し右組合と對立的關係にある城内の業者によつて組織する大新京旅館、下宿、飲食店組合では値上げの時機にあらずとして暫く現狀を維持隱忍自重の態度を持し沈默を守つてゐるもので同一市における同業者間に値上げの不統一を見ることは甚だ奇異の感を抱かせるものでありその成行は頗る注目されてゐる

犬を愛する人は 正直なはず！
市公署は一擧兩得

新京特別市公署では今年度より新税として畜犬税を設定し税收入増加を圖ると共に狂犬病の撲滅を期することになつたが來る四月四日より六月廿四日まで市内廿數ヶ所の警察派出所で狂犬病豫防注射を行ふと共に畜犬税金四圓を徴收して犬の鑑札、犬牌を授與犬牌なき犬は野犬と見做して今後容赦なく撲殺する筈であるなほ當局では市内の畜犬數を大體六千頭と見てゐるが畜犬屆が正直に提出されるとすれば新税設定により一ヶ年二萬餘圓の財源が殖える譯である

畜犬税四圓也
但し軍用犬は免税か

新京特別市公署では新税として今年度から畜犬税を設定、市内の畜犬者より一様に一ヶ年金四圓の税金を徴收することになつたが、これに對し滿洲軍用犬協會新京支部が軍用犬に對する徴税を不當として市當局に免税を申請して來てゐる、すなはち支部側の免税理由とするところは近時軍用犬が國防軍略上重要な役割を果しつゝある現狀に鑑み、協會當局ならびに畜犬者においても今日まで多大の犠牲を拂ひこれが發達助長に努めて來たものであるが、今回一般畜犬と同樣軍用犬にまで畜犬税を適用されることは負擔の過重を招くと共にひいては軍用犬の飼養を阻害し國防上大なる損失を來すのではないかといふもので市當局においても結局軍用犬の性能、その育成目的を考慮一般畜犬と切り離し免税の態度に出る模樣である

司法官會議
滯りなく終了

司法官會議第三日は廿六日午前九時半から國務院講堂で開會、前日の官房關係の質疑應答に續いて民事、刑事、行刑關係の質疑應答を終り正午盛會裡に全日程を終了した

齊々哈爾電業
新設發電所半燒

一昨年の十二月一日發電所の「ボイラー爆破により一時「闇の齊々哈爾」を出現させた苦い經驗を持つてゐる電業齊々哈爾支店は二十五日早朝再度の災難に見舞はれ新築中の發電所西側一部を燒失した、西風の強い二十五日朝八時三十分頃齊々哈爾驛北方に殆んど完成された新設發電所ボイラー室の一部防寒壁工事のリベット取りつけ作業中乾草に引火し折柄の風に煽られ火勢は隣接の發電室にも及ばんとしたが逸早く馳せつけた齊々哈爾警察廳消防隊、鐵道警護隊など必死の努力によりボイラー室電池室の一部を燒いて午前十時頃鎭火した、同發電所は四月一日から發電を開始の豫定であつたが、鎭火の際に發電器が水浸しとなつたゝめ事業開始は多少遲れる見込で損害約三萬圓程度と見られてゐる

白衣の勇士 湯崗子へ

北滿討匪行の聖戰に不幸傷いた白衣の勇士廿名は廿六日午後十一時新京驛着列車で到着郷軍、國婦會員等多數の接待を受けて廿七日午前零時發列車で湯崗子へ向つた

呉六段快癒 對局開始

【東京國通】一昨年秋病のため手合せを廢し爾來一切の對局から遠ざかつて靜養に專心ひそかに捲土重來を期しつゝあつた棋界の天才呉泉（舊名呉清源）六段は最近病も癒え去る廿日より全棋界待望の對局を開始した、復活第一戰は信州上諏訪の温泉境において最近日の出の勢にある前田六段との對局から二年振りの大熟戰を演じてゐるが、これで同六段に對する棋界の不安は全く一掃された譯である

敷島高女 見學團便り

敷島高女母國見學團三年組から二十六日午前十時十分發左の電報が本社宛到着保護者へ周知方依頼があつた

皆無事で下關に上陸す敷島高女三年旅行團

新京に幾多縣人會があれども秋田縣人會程集會の出席率がよいものが無いとの話▲誰にも遠慮することなくお國訛丸出しで喋られるだけでも氣が輕くなると宮澤民生部次長、薄田治安部次長、高橋滿洲生保社長のお偉方を始めワンサ〱と押しかける▲その中で變なのが石川縣人會長である武部關東局總長が顧問として出席してゐることで、如何なる理由かは知る人ぞ知る▲心配性たのが調べてみる所に依ると武部總長、かつて秋田縣知事なりし時代に忘れられない人が出來て今でも昔戀しい秋田縣らしいとまでわかつたが詳細不明、近く辭任決定の報に目下早急調査中ですとのこと

天氣と氣温

けふの天氣　北西の風晴後薄曇り

日の出　前六時三二分

日の入　後六時五七分

月の出　前三時五〇分

月の入　後二時一八分

きのふの氣温　最高八度七　最低零下二度七

義人長七郎

（講上演 映画化）中川雨之助 竹林一郎 畫

（二百三）

守護と暗殺 (三)

近頃、隊士の中に、だん／＼逃腰を感じて來た者がある。既に脱隊の空氣の生じたといふことが、暗殺隊に、綻びができたやうなもの、最初のやうな鋭い意氣込みはなくなつてゐます。

「オイ、誰か向うへ逃げたやうだぞ」

先頭の隊士が、黒田、お銀の逃げた方を透しながら言ひました。

「なに、逃げた? どんな奴だつた」

暗殺隊々士の一人が云ひます。

「男と女のやうだつた」

「おほかた夜鷹が、客を咥へてゐたのだつたら、邪魔にしてゐやがる。あはゝゝゝ」

「人の戀路の邪魔する奴は……か、うつちやつて置け／＼」

「あツはゝゝゝゝ」

それから又ゾロ／＼と、一同は、…町の通りへ出て、やがて三丁目の角を、若松町の方へ曲らうとした時です。

角の御旗組屋敷の影から、暗殺隊と殆ど同じ位の人數で、おまけに、同じやうな扮裝で、まるで、どつちが、どつちだか分らぬやうな一隊が、忽然として現はれたので暗殺隊の連中、思はずギヨッとして、立ち竦んでしまひました。

「何者だ」と、一番前にゐた一人が大刀に反を打たせて咎めましたすると、相手も、なか／＼負けてゐません。

「何者とは、何者だ?」と、やり返しました。それが、途轍もない大きな聲なんです。

「名を名乘れ」

「きさま達こそ名を名乘れ」

「なにツ!」

「なにが、なんだ」

「怪しい奴!」

「怪しからん!」

何處まで行つても際限しです

「ソレツ!」

暗殺隊の腰抜が、とう／＼脱線しました。」

逃腰で、なにか事あれかしと斯つてゐた隊士の面々、忽ちバラバラと、左右に散つて、刀を撫ります。中には、もうスラリと、ひつこ抜いてしまつた氣の早いのもゐる。

「待て／＼、慌てるな、それほど聞きたくば、名乘つて聞かせるぞ」

一番先へシャ／＼り出て、どうやら頭分らしいのが、振込んでゐた手槍を取直し、石突でドンと大地を食はせて。

「耳の穴を、かつぽじつて、よく聞け。拙者こそは、天下の御意見番大久保彦左衛門だ」

「おやく、えらい者が飛出したぞ」と、暗殺隊の一同、ギク／＼となつた。

「こゝに引連れたのは、いづれも鬱勃たる…への浪人……ただ一ト口に浪人と申してもそこらに轉がつてゐる…ツ腰のヘロ／＼浪人とは物が違ふ。いづれも千軍萬馬の間を往來した戰場生き殘りの英雄豪傑ばかりだ。それはかりで無いぞ當今わが日の本において…を取つては天下無敵、畏れ多くも將軍家にお手を取つての指南役柳生但馬守……」

暗殺隊の面々、思はずブル／＼と身ぶるひをした。彦左衛門のほかに、柳生但馬守なんぞに出て來られては堪つたものではありません

「……その柳生但馬守でさへ、跣足で逃げ出すほどの劍客も混つてゐるぞ」

彦左衛門一流の、大ボラを吹き立てます。

「なあんのことだ」

暗殺隊は、口あんぐりさす。

「御老體とも存じませず、無禮の段は、平に御容赦……併し、その御老體が、何故あつて、かゝる夜中に……?」

D-3-8